

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年6月9日提出
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金） 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金） 1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年12月9日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について半期報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

なお、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」において、「1 財務諸表」につきましては「中間財務諸表」が追加され、「2 ファンドの現況」につきましては原届出書の更新後の内容を記載します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

当ファンドは、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざして運用を行います。信託金の限度額は、各ファンドについて、5,000億円です。

* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券	MRF	
追加型		不動産投信		特殊型 ()
	内外	その他資産 ()	ETF	
		資産複合		

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年1回	グローバル	ファミリー	あり	日経225	ブル・ベア型
一般	年2回	(日本を含む)	ファンド	()		
大型株	年4回	日本			TOPIX	条件付運用型
中小型株	年6回	北米	ファンド・	なし		
債券	(隔月)	欧州	オブ・		その他	ロング・
一般	年12回	アジア	ファンズ		()	ショート型/ 絶対収益 追求型
公債	(毎月)	オセアニア				
社債	日々	中南米				
その他債券	その他	アフリカ				
クレジット	()	中近東				その他
属性		(中東)				()
不動産投信		エマージング				
その他資産 (投資信託証 券(資産複合 (株式、債 券、短期金融 資産)資産配 分変更型))						
資産複合						

()						
-----	--	--	--	--	--	--

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
--------	----	----	---------------------------------

	大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。
	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（BBB格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（BBB格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
決算頻度	年1回	信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年2回	信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年4回	信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年6回（隔月）	信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。
	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経225	信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	TOPIX	信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型 / 絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

[ファンドの目的・特色]

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。

ファンドの特色

投資対象

日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とします。

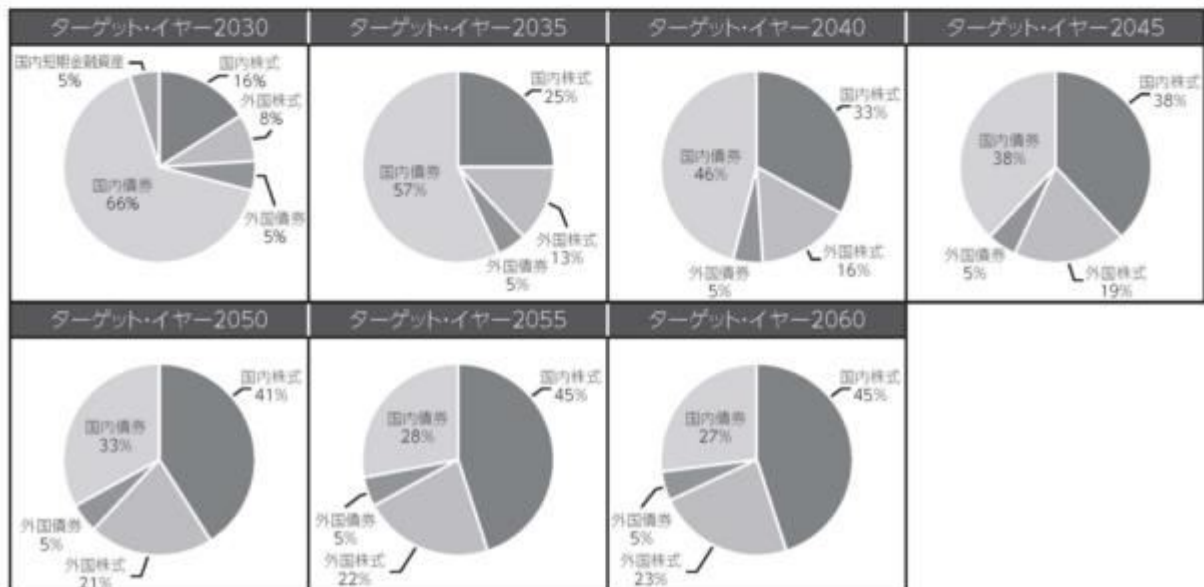
- マザーファンドへの投資を通じて各資産に実質的な投資を行います。

<マザーファンドの主要投資対象と運用目標>

	主要投資対象	運用目標
TOPIXマザーファンド	国内株式	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
外国株式インデックスマザーファンド	外国株式	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
日本債券インデックスマザーファンド	国内債券	NOMJRA-BPI総合と連動する投資成果をめざして運用を行います。
外国債券インデックスマザーファンド	外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
マネー・マーケット・マザーファンド	国内短期公社債等	安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

運用方法 運用プロセス

投資家のみなさまの退職時期等の目標年次を「ターゲット・イヤー」とし、2030年、2035年、2040年、2045年、2050年、2055年、2060年をターゲット・イヤーとする7つのファンドからお選びいただけます。



- ① 三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)、三菱UFJ「ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)をそれぞれ「ターゲット・イヤー2030」、「ターゲット・イヤー2035」、「ターゲット・イヤー2040」、「ターゲット・イヤー2045」、「ターゲット・イヤー2050」、「ターゲット・イヤー2055」、「ターゲット・イヤー2060」といいます。
- ② 四捨五入の関係で上記の数値を合計しても100%にならないことがあります。
- ③ 2020年3月末現在の基本資産配分です。

運用方法
運用プロセス

ターゲット・イヤーが近づくにしたがいリスクを漸減させ、ターゲット・イヤー到達後は投資比率を一定にすることを基本とします。

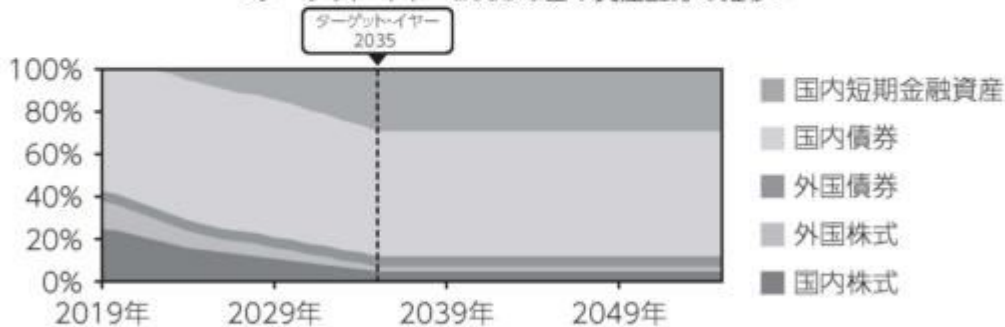
- 各ファンドにおいて、ターゲット・イヤーに接近する(運用期間が経過する)にしたがい安定性資産の比率を引き上げてリスクを漸減させます。
- 各ファンドにおいて、ターゲット・イヤー到達後は、安定性資産等を中心に各資産への実質的な投資比率を一定にすることを基本とします。

④ 安定性資産とは、国内債券および国内短期金融資産をいいます。

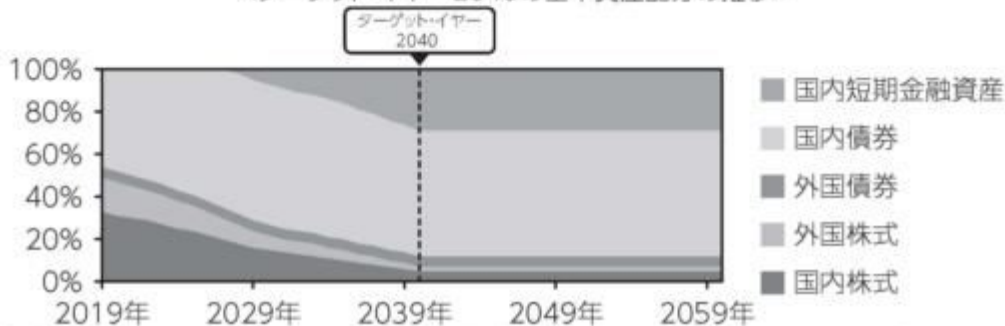
<ターゲット・イヤー2030の基本資産配分の推移>



<ターゲット・イヤー2035の基本資産配分の推移>

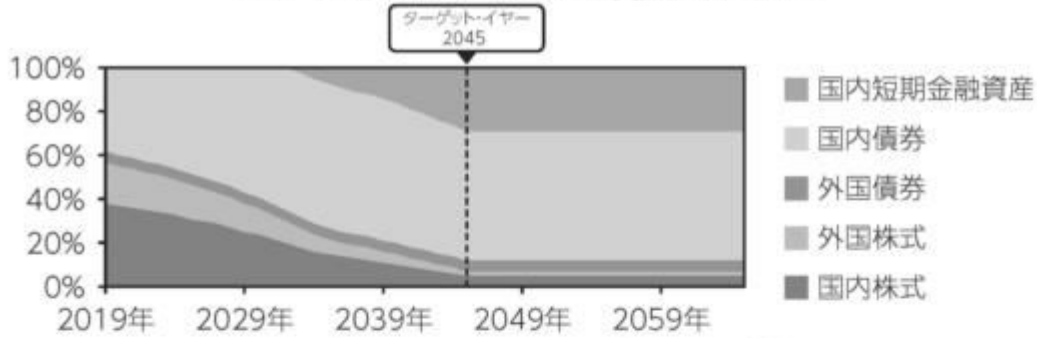


<ターゲット・イヤー2040の基本資産配分の推移>

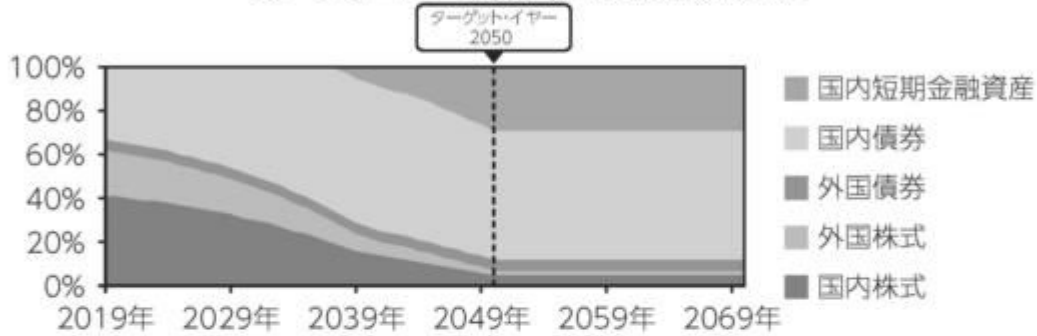


⑤ 2020年3月末現在に計画している基本資産配分の推移であり、市況動向等によって組入比率が変更される場合があります。

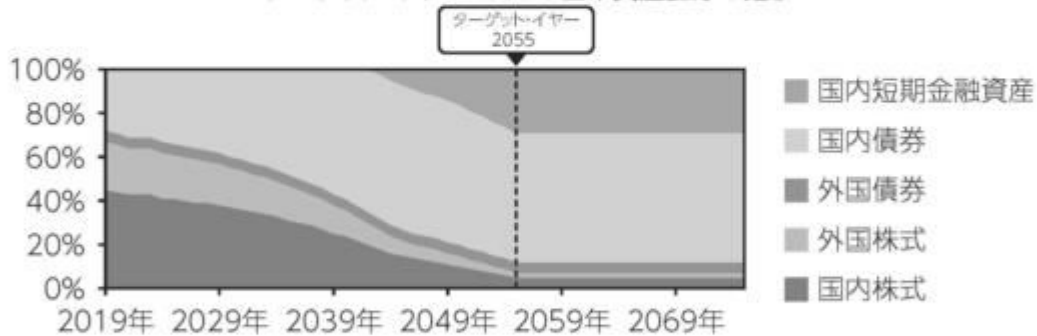
<ターゲット・イヤー2045の基本資産配分の推移>



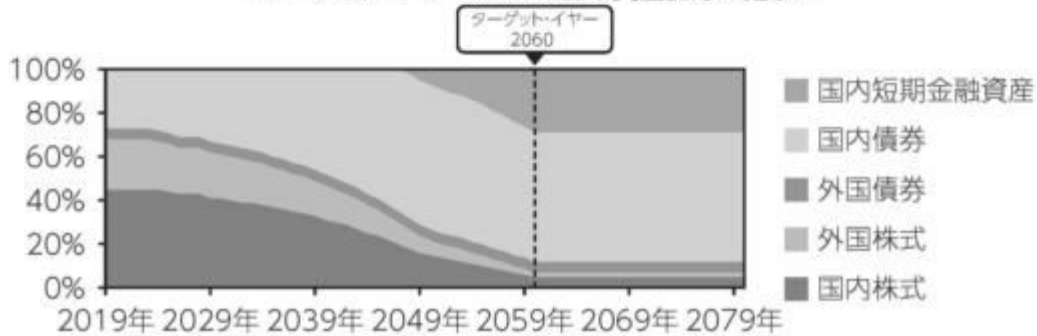
<ターゲット・イヤー2050の基本資産配分の推移>



<ターゲット・イヤー2055の基本資産配分の推移>



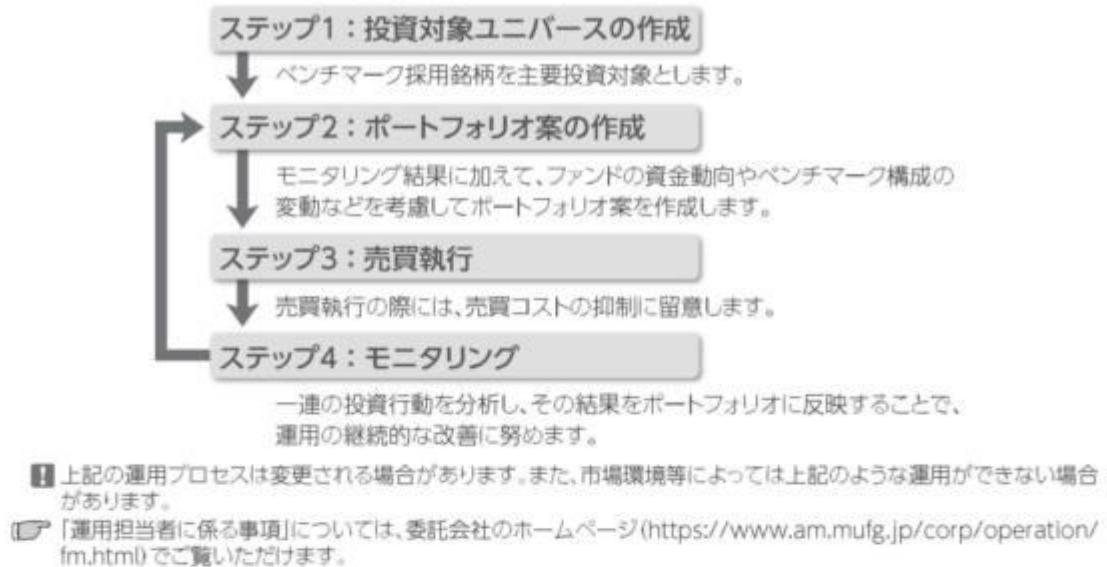
<ターゲット・イヤー2060の基本資産配分の推移>



■ 2020年3月末現在に計画している基本資産配分の推移であり、市況動向等によって組入比率が変更される場合があります。

<マザーファンドの運用プロセス>

（マネー・マーケット・マザーファンドを除きます。）

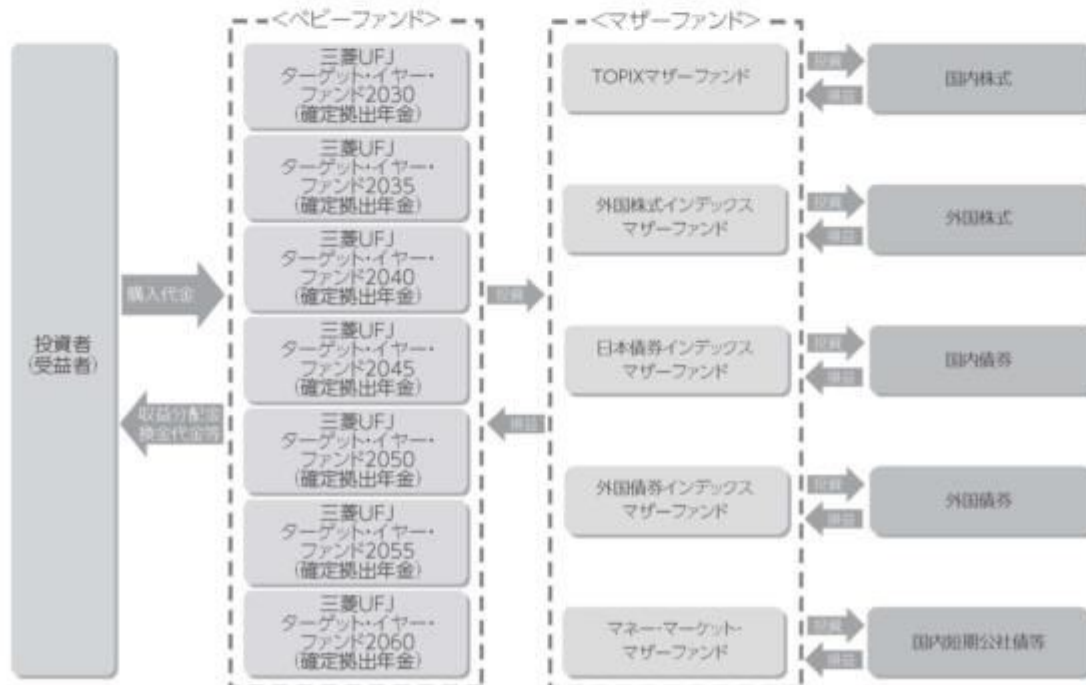


為替対応
方針

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

■ファンドの仕組み

運用は主に各マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



■ 確定拠出年金プランによっては、取り扱わないファンドがある場合があります。

■主な投資制限

株式	株式への実質投資割合に制限を設けません。
外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
デリバティブ	デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

■分配方針

- ・年1回の決算時(9月10日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)・データに基づき当社が計算したものです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(3)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
--	----

委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2019年9月末現在）

- ・ 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・ 設立年月日
1985年8月1日
- ・ 資本金
2,000百万円
- ・ 沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
- ・ 大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

<訂正後>

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2020年3月末現在）

- ・ 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・ 設立年月日
1985年8月1日
- ・ 資本金
2,000百万円
- ・ 沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始

2004年10月	東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月	三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月	三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更

・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

3【投資リスク】

<更新後>

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

(主なりスクであり、以下に限定されるものではありません。)

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の

下落要因となります。

- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

<流動性リスクに対する管理体制>

流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

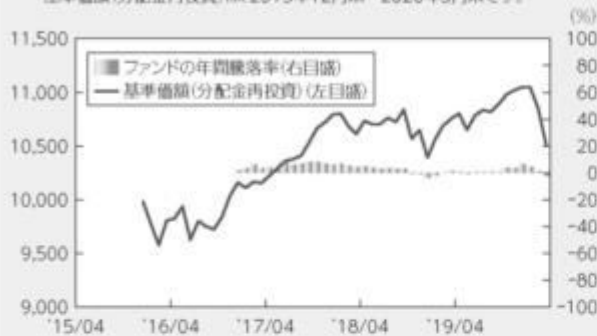
■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)

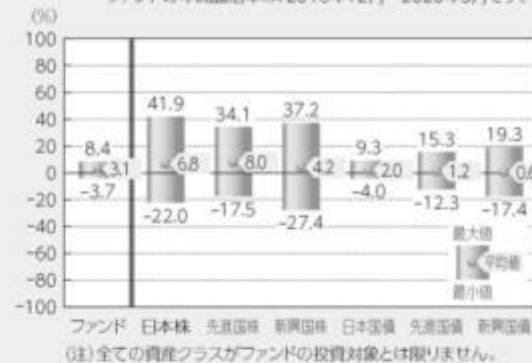
● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2015年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。

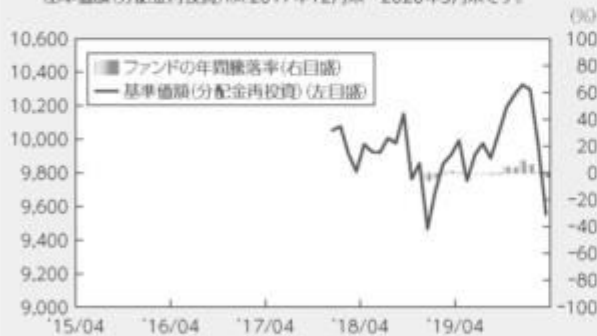


- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)

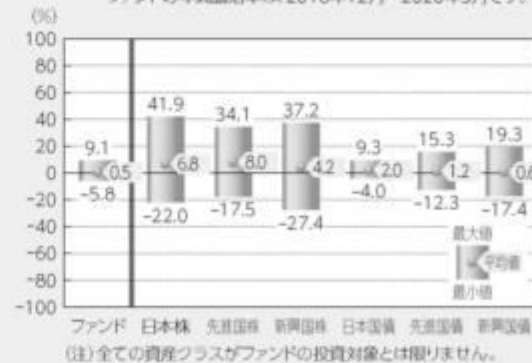
● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2017年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。



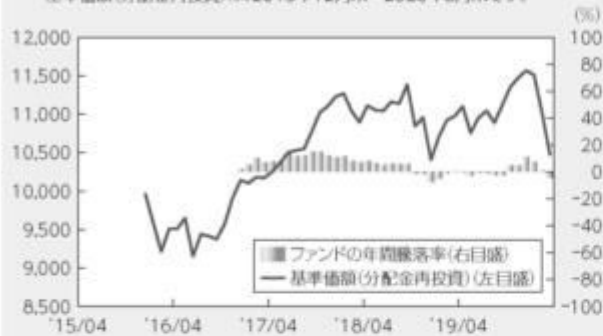
- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)

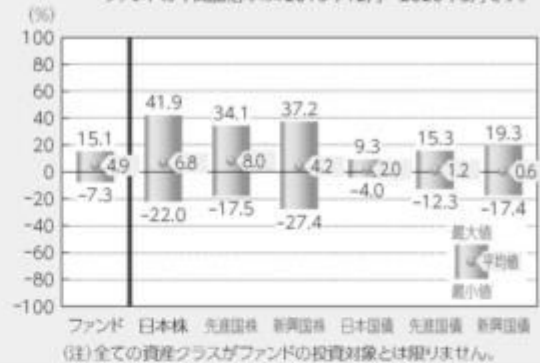
● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2015年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。

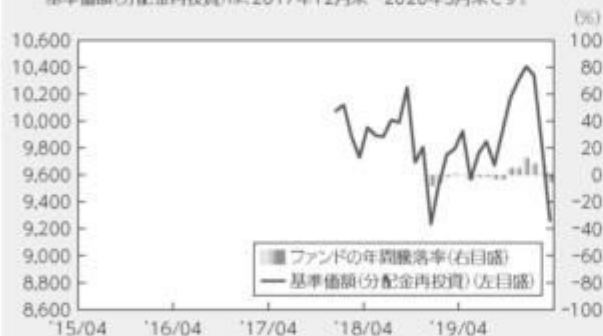


- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2017年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。



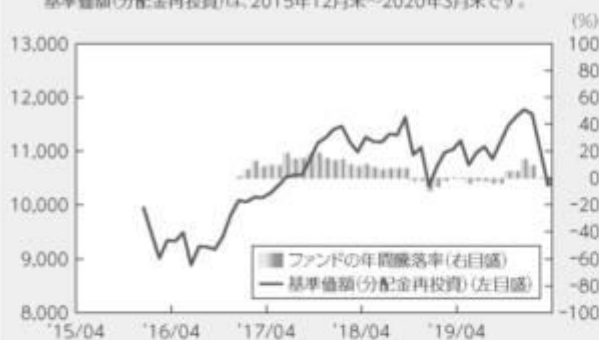
- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2015年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2016年12月～2020年3月です。

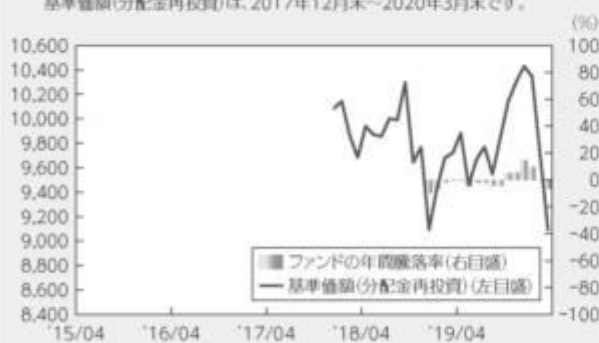


- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2017年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)
ファンドの年間騰落率は、2018年12月～2020年3月です。



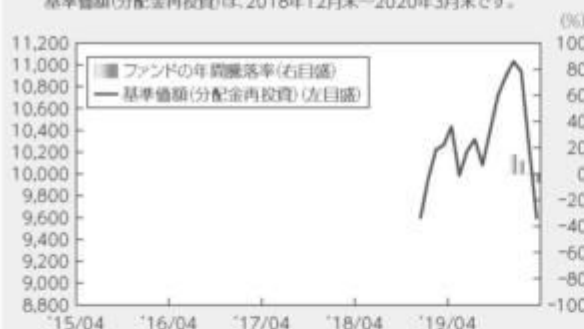
- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2019年12月～2020年3月です。
基準価額(分配金再投資)は、2018年12月末～2020年3月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年4月末～2020年3月末)

ファンドの年間騰落率は、2019年12月～2020年3月です。



②全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの高標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・ インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

<訂正前>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理

機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。上記以外の場合の課税の取扱いは、次の通りです。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2019年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

<訂正後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

上記以外の場合の課税の取扱いは、次の通りです。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。なお、確定申告を行い、総合課税(配当控除は適用されません。)
・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失(譲渡損)については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。)との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%)の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等(申込手数料(税込)は含まれません。)が当該受益者の元本(個別元本)にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元

本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2020年3月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)】

(1)【投資状況】

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	914,043,927	99.00
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		9,242,749	1.00
純資産総額		923,286,676	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	451,204,004	1.3670	616,830,578	1.3513	609,711,970	66.04
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	94,072,554	1.7063	160,515,999	1.5643	147,157,696	15.94
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	30,456,842	2.7850	84,822,305	2.4454	74,479,161	8.07
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	21,073,592	2.1114	44,495,344	2.1796	45,932,001	4.97
日本	親投資信託受益証券	マネー・マーケット・マザーファンド	36,105,971	1.0181	36,759,628	1.0182	36,763,099	3.98

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.00
合計	99.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成28年 9月12日）	3,163,282	3,163,282	9,680	9,680
第2計算期間末日（平成29年 9月11日）	147,711,428	147,711,428	10,395	10,395
第3計算期間末日（平成30年 9月10日）	222,991,141	222,991,141	10,638	10,638
第4計算期間末日（令和 1年 9月10日）	490,650,770	490,650,770	10,851	10,851
平成31年 3月末日	314,544,966		10,755	
4月末日	320,288,854		10,803	
令和 1年 5月末日	339,582,278		10,650	
6月末日	444,098,967		10,784	
7月末日	462,624,788		10,835	
8月末日	482,867,961		10,819	
9月末日	517,797,043		10,888	
10月末日	573,127,251		10,981	
11月末日	631,930,422		11,020	
12月末日	724,842,441		11,049	
令和 2年 1月末日	810,817,544		11,046	
2月末日	866,418,309		10,854	
3月末日	923,286,676		10,517	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	3.20
第2計算期間	7.38
第3計算期間	2.33
第4計算期間	2.00
第5中間計算期間	2.65

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	3,267,919		3,267,919
第2計算期間	154,321,239	15,489,854	142,099,304
第3計算期間	106,482,794	38,973,089	209,609,009
第4計算期間	279,403,656	36,857,847	452,154,818
第5中間計算期間	403,271,506	39,586,797	815,839,527

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）】

（１）【投資状況】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	286,821,229	99.21
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		2,292,182	0.79
純資産総額		289,113,411	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	120,786,079	1.3649	164,868,162	1.3513	163,218,228	56.45
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	45,858,688	1.7204	78,895,287	1.5643	71,736,745	24.81
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	15,339,941	2.7528	42,227,790	2.4454	37,512,291	12.97
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	6,585,596	2.1136	13,919,533	2.1796	14,353,965	4.96

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.21
合計	99.21

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位:円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成30年9月10日)	23,478,202	23,478,202	9,865	9,865
第2計算期間末日 (令和1年9月10日)	159,571,075	159,571,075	9,970	9,970
平成31年3月末日	47,997,773		9,908	

4月末日	49,742,597		9,993
令和 1年 5月末日	57,880,224		9,753
6月末日	135,719,557		9,908
7月末日	150,207,973		9,975
8月末日	155,975,718		9,888
9月末日	179,156,336		10,034
10月末日	196,161,074		10,190
11月末日	226,475,129		10,265
12月末日	245,725,387		10,325
令和 2年 1月末日	272,926,070		10,297
2月末日	277,545,199		9,974
3月末日	289,113,411		9,554

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	1.35
第2計算期間	1.06
第3中間計算期間	3.88

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	24,925,133	1,126,259	23,798,874
第2計算期間	150,328,384	14,074,610	160,052,648
第3中間計算期間	163,063,824	45,028,320	278,088,152

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）】

（１）【投資状況】

令和 2年 3月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	660,648,667	99.12
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		5,881,700	0.88
純資産総額		666,530,367	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	224,322,863	1.3679	306,871,285	1.3513	303,127,484	45.48
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	139,504,364	1.7099	238,538,513	1.5643	218,226,676	32.74
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	43,635,342	2.7675	120,760,809	2.4454	106,705,865	16.01
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	14,951,662	2.1080	31,518,974	2.1796	32,588,642	4.89

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.12
合計	99.12

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成28年 9月12日)	1,689,104	1,689,104	9,342	9,342
第2計算期間末日 (平成29年 9月11日)	120,459,324	120,459,324	10,519	10,519
第3計算期間末日 (平成30年 9月10日)	211,100,530	211,100,530	10,984	10,984
第4計算期間末日 (令和 1年 9月10日)	485,276,001	485,276,001	11,020	11,020
平成31年 3月末日	299,706,807		10,976	
4月末日	309,172,127		11,101	
令和 1年 5月末日	325,792,291		10,756	
6月末日	433,136,101		10,954	
7月末日	460,511,146		11,043	
8月末日	473,823,278		10,889	
9月末日	504,294,939		11,118	
10月末日	550,278,251		11,354	
11月末日	581,697,062		11,473	
12月末日	603,872,467		11,567	
令和 2年 1月末日	662,122,530		11,511	
2月末日	670,862,184		11,018	
3月末日	666,530,367		10,477	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率 (%)
第1計算期間	6.58
第2計算期間	12.59
第3計算期間	4.42
第4計算期間	0.32
第5中間計算期間	4.82

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配の額）を控除した額を当該基準価額（分配の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	1,808,058		1,808,058
第2計算期間	116,582,341	3,871,416	114,518,983
第3計算期間	102,928,864	25,265,473	192,182,374
第4計算期間	273,481,532	25,316,670	440,347,236
第5中間計算期間	198,432,766	30,594,751	608,185,251

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）】

（１）【投資状況】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	159,665,516	98.99
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		1,625,833	1.01
純資産総額		161,291,349	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和 2年 3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	38,722,061	1.7191	66,567,096	1.5643	60,572,920	37.55
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	44,697,135	1.3645	60,991,206	1.3513	60,399,238	37.45
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	12,587,449	2.7648	34,801,779	2.4454	30,781,347	19.08
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	3,630,029	2.1158	7,680,713	2.1796	7,912,011	4.91

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	98.99
合計	98.99

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成30年 9月10日）	15,108,774	15,108,774	9,837	9,837
第2計算期間末日（令和 1年 9月10日）	77,621,673	77,621,673	9,816	9,816
平成31年 3月末日	31,879,573		9,794	
4月末日	35,637,043		9,925	
令和 1年 5月末日	40,152,910		9,567	
6月末日	67,850,519		9,759	
7月末日	76,232,696		9,847	
8月末日	73,542,993		9,673	
9月末日	81,981,304		9,920	
10月末日	96,721,251		10,169	
11月末日	114,016,587		10,300	
12月末日	126,360,579		10,404	
令和 2年 1月末日	144,808,336		10,339	
2月末日	145,669,596		9,813	
3月末日	161,291,349		9,262	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
--	------------

第1計算期間	0円
第2計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	1.63
第2計算期間	0.21
第3中間計算期間	5.56

(注)「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4)【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	15,849,641	491,195	15,358,446
第2計算期間	77,368,247	13,652,892	79,073,801
第3中間計算期間	86,785,246	11,893,828	153,965,219

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)】

(1)【投資状況】

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	371,198,610	99.15
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		3,173,966	0.85
純資産総額		374,372,576	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
------	----	-----	----	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	97,433,696	1.7100	166,611,621	1.5643	152,415,530	40.71
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	89,829,524	1.3673	122,830,841	1.3513	121,386,635	32.42
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	32,267,101	2.7653	89,228,215	2.4454	78,905,968	21.08
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	8,483,427	2.1081	17,884,378	2.1796	18,490,477	4.94

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	99.15
合計	99.15

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成28年 9月12日）	2,174,386	2,174,386	9,145	9,145
第2計算期間末日（平成29年 9月11日）	68,939,089	68,939,089	10,530	10,530
第3計算期間末日（平成30年 9月10日）	139,517,902	139,517,902	11,113	11,113
第4計算期間末日（令和 1年 9月10日）	279,142,420	279,142,420	11,040	11,040
平成31年 3月末日	202,185,470		11,029	
4月末日	202,022,236		11,195	
令和 1年 5月末日	213,429,867		10,744	
6月末日	246,393,854		10,976	
7月末日	263,678,777		11,084	
8月末日	272,228,264		10,855	
9月末日	286,869,747		11,170	

10月末日	307,409,401		11,478
11月末日	326,944,236		11,644
12月末日	334,209,259		11,774
令和 2年 1月末日	373,442,520		11,692
2月末日	372,736,823		11,038
3月末日	374,372,576		10,374

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	8.55
第2計算期間	15.14
第3計算期間	5.53
第4計算期間	0.65
第5中間計算期間	6.00

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	2,377,795		2,377,795
第2計算期間	67,846,488	4,753,439	65,470,844
第3計算期間	89,621,216	29,550,834	125,541,226
第4計算期間	152,123,052	24,819,648	252,844,630
第5中間計算期間	116,199,818	31,715,250	337,329,198

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）】

（１）【投資状況】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	92,038,534	99.14
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		794,112	0.86
純資産総額		92,832,646	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	26,531,665	1.7194	45,618,545	1.5643	41,503,483	44.71
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	18,816,349	1.3645	25,675,248	1.3513	25,426,532	27.39
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	8,392,955	2.7672	23,224,986	2.4454	20,524,132	22.11
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	2,103,316	2.1156	4,449,801	2.1796	4,584,387	4.94

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.14
合計	99.14

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成30年 9月10日)	15,351,502	15,351,502	9,816	9,816
第2計算期間末日 (令和 1年 9月10日)	64,536,551	64,536,551	9,725	9,725
平成31年 3月末日	25,667,343		9,722	
4月末日	29,483,831		9,882	
令和 1年 5月末日	34,177,403		9,456	
6月末日	50,048,033		9,669	
7月末日	63,184,327		9,771	
8月末日	62,054,723		9,547	
9月末日	70,170,607		9,848	
10月末日	64,335,758		10,145	
11月末日	70,433,973		10,304	
12月末日	81,047,804		10,430	
令和 2年 1月末日	93,263,321		10,346	
2月末日	85,315,731		9,712	
3月末日	92,832,646		9,095	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率 (%)
第1計算期間	1.84
第2計算期間	0.92
第3中間計算期間	6.47

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（4）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	15,807,601	167,683	15,639,918

第2計算期間	59,246,242	8,521,526	66,364,634
第3中間計算期間	55,947,636	31,196,510	91,115,760

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)】

(1) 【投資状況】

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	82,295,607	98.97
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		852,371	1.03
純資産総額		83,147,978	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	23,650,520	1.7201	40,681,260	1.5643	36,996,508	44.49
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	16,229,135	1.3589	22,055,307	1.3513	21,930,430	26.38
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	7,870,476	2.7327	21,507,650	2.4454	19,246,462	23.15
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	1,891,268	2.1197	4,008,964	2.1796	4,122,207	4.96

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	98.97
合計	98.97

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (令和 1年 9月10日)	22,238,624	22,238,624	10,270	10,270
平成31年 3月末日	10,264,769		10,265	
4月末日	10,433,750		10,434	
令和 1年 5月末日	10,295,173		9,985	
6月末日	11,070,792		10,209	
7月末日	18,366,435		10,317	
8月末日	21,136,140		10,082	
9月末日	27,772,754		10,400	
10月末日	33,449,954		10,720	
11月末日	40,830,558		10,893	
12月末日	71,705,275		11,030	
令和 2年 1月末日	79,229,143		10,940	
2月末日	67,572,601		10,261	
3月末日	83,147,978		9,595	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率 (%)
第1計算期間	2.70
第2中間計算期間	6.56

(注) 「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	22,173,546	519,382	21,654,164
第2中間計算期間	76,043,754	30,363,315	67,334,603

（参考）

TOPIXマザーファンド

投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	238,869,848,820	97.61
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		5,842,503,826	2.39
純資産総額		244,712,352,646	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	5,836,480,000	2.39

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

令和 2年 3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	1,350,000	6,917.15	9,338,161,800	6,501.00	8,776,350,000	3.59
日本	株式	ソニー	電気機器	765,300	6,504.16	4,977,636,400	6,421.00	4,913,991,300	2.01

日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	1,587,100	2,509.73	3,983,198,000	2,575.50	4,087,576,050	1.67
日本	株式	キーエンス	電気機器	109,600	34,542.54	3,785,863,400	34,830.00	3,817,368,000	1.56
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	942,000	4,155.68	3,914,650,600	3,788.00	3,568,296,000	1.46
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	1,006,700	3,346.86	3,369,285,900	3,308.00	3,330,163,600	1.36
日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	8,163,300	448.63	3,662,379,820	403.00	3,289,809,900	1.34
日本	株式	任天堂	その他製品	74,200	39,653.98	2,942,325,800	41,610.00	3,087,462,000	1.26
日本	株式	NTTドコモ	情報・通信業	877,000	3,193.54	2,800,741,300	3,377.00	2,961,629,000	1.21
日本	株式	KDDI	情報・通信業	884,800	3,244.58	2,870,811,900	3,190.00	2,822,512,000	1.15
日本	株式	第一三共	医薬品	346,200	7,235.11	2,504,795,600	7,434.00	2,573,650,800	1.05
日本	株式	花王	化学	289,700	8,585.04	2,487,086,100	8,830.00	2,558,051,000	1.05
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	828,200	3,102.71	2,569,668,700	2,796.00	2,315,647,200	0.95
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	952,600	2,590.68	2,467,887,700	2,430.00	2,314,818,000	0.95
日本	株式	HOYA	精密機器	241,600	9,016.59	2,178,408,800	9,200.00	2,222,720,000	0.91
日本	株式	信越化学工業	化学	203,500	10,852.69	2,208,524,000	10,730.00	2,183,555,000	0.89
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	825,300	2,948.20	2,433,153,231	2,623.00	2,164,761,900	0.88
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	426,700	5,034.44	2,148,196,200	4,950.00	2,112,165,000	0.86
日本	株式	ダイキン工業	機械	154,200	14,017.27	2,161,463,800	13,170.00	2,030,814,000	0.83
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	16,215,700	134.76	2,185,304,000	123.60	2,004,260,520	0.82
日本	株式	村田製作所	電気機器	355,400	5,505.31	1,956,587,500	5,472.00	1,944,748,800	0.79
日本	株式	三菱商事	卸売業	836,200	2,462.24	2,058,930,200	2,291.50	1,916,152,300	0.78
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	833,500	2,300.48	1,917,454,350	2,242.50	1,869,123,750	0.76
日本	株式	日立製作所	電気機器	581,400	3,207.05	1,864,582,700	3,143.00	1,827,340,200	0.75
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	1,048,700	1,658.25	1,739,006,775	1,671.00	1,752,377,700	0.72
日本	株式	東海旅客鉄道	陸運業	100,600	18,130.04	1,823,882,400	17,320.00	1,742,392,000	0.71
日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	213,000	8,402.07	1,789,641,600	8,176.00	1,741,488,000	0.71
日本	株式	S M C	機械	38,000	45,874.29	1,743,223,200	45,750.00	1,738,500,000	0.71
日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	123,000	14,791.16	1,819,312,700	13,820.00	1,699,860,000	0.69
日本	株式	ファナック	電気機器	115,000	15,350.54	1,765,312,400	14,655.00	1,685,325,000	0.69

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	業種	投資比率 (%)
株式	水産・農林業	0.10
	鉱業	0.19
	建設業	2.64
	食料品	4.12
	繊維製品	0.52
	パルプ・紙	0.27
	化学	7.37

医薬品	6.40
石油・石炭製品	0.45
ゴム製品	0.64
ガラス・土石製品	0.74
鉄鋼	0.57
非鉄金属	0.63
金属製品	0.54
機械	4.79
電気機器	13.85
輸送用機器	7.12
精密機器	2.50
その他製品	2.41
電気・ガス業	1.75
陸運業	4.40
海運業	0.13
空運業	0.40
倉庫・運輸関連業	0.18
情報・通信業	9.43
卸売業	4.83
小売業	4.69
銀行業	5.04
証券、商品先物取引業	0.77
保険業	2.15
その他金融業	1.10
不動産業	2.11
サービス業	4.79
小計	97.61
合計	97.61

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

令和 2年 3月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	大阪取引所	TOPIX 20年06月限	買建	416	円	5,867,346,100	5,836,480,000	2.39

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

外国株式インデックスマザーファンド

投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
株式	アメリカ	260,052,209,942	65.75
	イギリス	19,263,248,695	4.87
	スイス	14,156,406,631	3.58
	フランス	13,244,682,766	3.35
	カナダ	12,298,605,680	3.11
	ドイツ	10,701,093,854	2.71
	オーストラリア	7,462,227,200	1.89
	オランダ	6,290,928,389	1.59
	香港	4,309,238,676	1.09
	スウェーデン	3,509,560,468	0.89
	スペイン	3,392,512,186	0.86
	デンマーク	2,872,481,597	0.73
	イタリア	2,380,472,670	0.60
	シンガポール	1,381,540,455	0.35
	フィンランド	1,253,628,426	0.32
	ベルギー	1,117,827,337	0.28
	アイルランド	728,893,143	0.18
	ノルウェー	687,536,006	0.17
	イスラエル	431,695,459	0.11
	ニュージーランド	385,350,534	0.10
ルクセンブルグ	255,795,808	0.06	
ポルトガル	230,867,745	0.06	
オーストリア	219,972,143	0.06	
小計		366,626,775,810	92.69
投資証券	アメリカ	8,581,068,006	2.17
	オーストラリア	443,118,602	0.11
	イギリス	220,157,507	0.06
	香港	205,657,218	0.05
	シンガポール	178,302,948	0.05
	フランス	170,962,345	0.04
	カナダ	86,574,775	0.02
	オランダ	84,956,307	0.02
小計		9,970,797,708	2.52
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		18,928,704,836	4.79
純資産総額		395,526,278,354	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率(%)
株価指数先物取引	買建	アメリカ	14,180,698,641	3.59
	買建	カナダ	667,676,240	0.17
	買建	ドイツ	2,534,022,447	0.64
	買建	オーストラリア	814,798,826	0.21
	買建	イギリス	1,029,331,056	0.26
	買建	スイス	730,258,840	0.18

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

令和 2年 3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	778,794	15,366.45	11,967,305,626	17,437.83	13,580,478,078	3.43
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	477,404	25,184.48	12,023,171,925	27,730.97	13,238,877,100	3.35
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	45,282	206,305.50	9,341,925,852	213,736.67	9,678,424,276	2.45
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	46,461	139,781.25	6,494,376,749	124,752.91	5,796,145,291	1.47
アメリカ	株式	FACEBOOK INC-CLASS A	メディア・娯楽	258,593	21,047.37	5,442,704,486	18,060.33	4,670,277,114	1.18
アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	282,786	15,178.44	4,292,251,753	14,475.47	4,093,462,607	1.03
スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	319,740	11,391.25	3,642,238,404	11,298.35	3,612,536,987	0.91
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	336,647	12,977.13	4,368,712,946	10,175.60	3,425,586,896	0.87
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO/THE	家庭用品・パーソナル用品	267,952	12,312.62	3,299,193,362	12,515.44	3,353,539,858	0.85
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	184,041	18,830.74	3,465,628,898	18,018.98	3,316,231,669	0.84
アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	467,339	5,616.40	2,624,766,257	6,038.97	2,822,249,332	0.71
アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	141,160	23,129.90	3,265,016,773	19,935.47	2,814,092,272	0.71

アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア 機器・サー ビス	101,768	27,855.02	2,834,750,212	27,346.80	2,783,029,387	0.70
アメリカ	株式	MASTERCARD INC - A	ソフトウェ ア・サービ ス	96,493	29,410.97	2,837,953,143	27,561.19	2,659,462,630	0.67
アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信 サービス	444,300	6,284.43	2,792,172,329	5,960.61	2,648,303,066	0.67
スイス	株式	ROCHE HOLDING AG- GENUSSCHEIN	医薬品・バ イオテクノ ロジー・ラ イフサイエ ンス	75,457	31,870.96	2,404,887,738	34,959.24	2,637,919,976	0.67
アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信 サービス	784,854	3,649.42	2,864,263,988	3,289.93	2,582,115,427	0.65
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	117,302	22,575.41	2,648,141,669	21,341.56	2,503,408,023	0.63
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・ 娯楽	18,991	129,269.25	2,454,952,427	124,808.42	2,370,236,716	0.60
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バ イオテクノ ロジー・ラ イフサイエ ンス	273,499	8,840.22	2,417,792,157	8,374.46	2,290,408,760	0.58
アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	917,084	3,339.77	3,062,854,877	2,398.61	2,199,729,788	0.56
アメリカ	株式	COCA-COLA CO/THE	食品・飲 料・タバコ	437,518	5,572.43	2,438,042,002	4,897.34	2,142,678,777	0.54
アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バ イオテクノ ロジー・ラ イフサイエ ンス	594,575	4,279.73	2,544,626,287	3,555.47	2,113,997,202	0.53
アメリカ	株式	WALT DISNEY CO/THE	メディア・ 娯楽	193,789	14,831.66	2,874,214,411	10,861.23	2,104,787,676	0.53
アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲 料・タバコ	149,824	14,387.49	2,155,591,340	13,655.98	2,045,994,806	0.52
スイス	株式	NOVARTIS AG-REG	医薬品・バ イオテクノ ロジー・ラ イフサイエ ンス	230,817	9,737.67	2,247,620,264	8,807.73	2,032,975,662	0.51
アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS INC	テクノロ ジー・ハー ドウェアお よび機器	455,741	5,493.37	2,503,556,352	4,388.02	1,999,803,175	0.51
アメリカ	株式	WALMART INC	食品・生活 必需品小売 り	152,638	11,873.86	1,812,402,527	12,536.12	1,913,489,460	0.48
アメリカ	株式	NETFLIX INC	メディア・ 娯楽	47,082	38,062.92	1,792,078,508	40,371.57	1,900,774,579	0.48
アメリカ	株式	COMCAST CORP-CLASS A	メディア・ 娯楽	487,707	4,730.50	2,307,100,262	3,862.37	1,883,708,153	0.48

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	業種	投資比率（%）
株式	エネルギー	3.32
	素材	3.79
	資本財	5.95
	商業・専門サービス	1.19
	運輸	1.74
	自動車・自動車部品	0.89

耐久消費財・アパレル	1.72
消費者サービス	1.40
メディア・娯楽	5.96
小売	5.07
食品・生活必需品小売り	1.63
食品・飲料・タバコ	4.85
家庭用品・パーソナル用品	2.25
ヘルスケア機器・サービス	5.09
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.01
銀行	5.83
各種金融	4.11
保険	3.28
不動産	0.48
ソフトウェア・サービス	10.72
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.84
電気通信サービス	2.31
公益事業	3.78
半導体・半導体製造装置	3.49
小計	92.69
投資証券	2.52
合計	95.21

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

令和 2年 3月31日現在

資産の種類	地域	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額	簿価金額（円）	評価金額	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	SP EMINI2006	買建	998	アメリカドル	122,108,288.54	13,289,045,042	130,301,375	14,180,698,641	3.59
	カナダ	モントリオール取引所	SP/TSE602006	買建	55	カナダドル	8,231,901.25	630,563,636	8,716,400	667,676,240	0.17
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	EURO ST 2006	買建	781	ユーロ	19,421,323.4	2,321,819,212	21,196,340	2,534,022,447	0.64
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SPI 200 2006	買建	95	オーストラリアドル	12,015,611.25	794,111,747	12,328,625	814,798,826	0.21
	イギリス	インターコンチネンタル取引所	FTSE100 2006	買建	139	イギリスポンド	7,317,136.8	975,520,678	7,720,755	1,029,331,056	0.26

スイス	ユーレックス・チューリッヒ取引所	SWISS 1X2006	買建	72	スイスフラン	6,006,413.2	679,986,038	6,450,480	730,258,840	0.18
-----	------------------	--------------	----	----	--------	-------------	-------------	-----------	-------------	------

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

日本債券インデックスマザーファンド

投資状況

令和 2年 3月31日現在

(単位: 円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
国債証券	日本	490,933,048,120	84.00
地方債証券	日本	30,069,671,538	5.14
特殊債券	日本	35,811,303,568	6.13
社債券	日本	26,257,373,500	4.49
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		1,400,620,080	0.24
純資産総額		584,472,016,806	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

令和 2年 3月31日現在

(単位: 円)

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率(%)
債券先物取引	買建	日本	610,280,000	0.10

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

令和 2年 3月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	利率(%)	償還期限(年/月/日)	投資比率(%)
日本	国債証券	第408回利付国債(2年)	9,550,000,000	100.51	9,599,337,000	100.42	9,590,205,500	0.100000	2022/1/1	1.64
日本	国債証券	第342回利付国債(10年)	8,240,000,000	102.43	8,440,232,000	101.35	8,351,404,800	0.100000	2026/3/20	1.43
日本	国債証券	第134回利付国債(5年)	8,060,000,000	101.05	8,145,388,500	100.68	8,114,969,200	0.100000	2022/12/20	1.39
日本	国債証券	第339回利付国債(10年)	6,660,000,000	103.37	6,884,773,200	102.78	6,845,481,000	0.400000	2025/6/20	1.17

日本	国債証券	第333回利付国債(10年)	6,550,000,000	103.73	6,794,904,500	102.86	6,737,919,500	0.600000	2024/3/20	1.15
日本	国債証券	第137回利付国債(5年)	6,000,000,000	101.20	6,072,000,000	100.80	6,048,120,000	0.100000	2023/9/20	1.03
日本	国債証券	第329回利付国債(10年)	5,860,000,000	103.98	6,093,462,400	103.00	6,036,151,600	0.800000	2023/6/20	1.03
日本	国債証券	第348回利付国債(10年)	5,700,000,000	101.96	5,811,720,000	101.81	5,803,284,000	0.100000	2027/9/20	0.99
日本	国債証券	第354回利付国債(10年)	5,690,000,000	101.89	5,797,627,000	101.25	5,761,637,100	0.100000	2029/3/20	0.99
日本	国債証券	第344回利付国債(10年)	5,510,000,000	101.96	5,618,292,000	101.50	5,592,705,100	0.100000	2026/9/20	0.96
日本	国債証券	第351回利付国債(10年)	5,410,000,000	101.76	5,505,539,600	101.57	5,495,099,300	0.100000	2028/6/20	0.94
日本	国債証券	第355回利付国債(10年)	5,350,000,000	102.86	5,503,010,000	101.15	5,411,792,500	0.100000	2029/6/20	0.93
日本	国債証券	第142回利付国債(5年)	5,220,000,000	101.67	5,307,402,000	101.02	5,273,244,000	0.100000	2024/12/20	0.90
日本	国債証券	第138回利付国債(5年)	5,150,000,000	101.49	5,227,035,000	100.82	5,192,333,000	0.100000	2023/12/20	0.89
日本	国債証券	第332回利付国債(10年)	5,040,000,000	103.54	5,218,819,200	102.69	5,175,576,000	0.600000	2023/12/20	0.89
日本	国債証券	第350回利付国債(10年)	5,070,000,000	101.79	5,160,753,000	101.64	5,153,502,900	0.100000	2028/3/20	0.88
日本	国債証券	第131回利付国債(5年)	5,010,000,000	100.79	5,049,759,800	100.47	5,033,697,300	0.100000	2022/3/20	0.86
日本	国債証券	第347回利付国債(10年)	4,920,000,000	102.20	5,028,282,000	101.78	5,007,920,400	0.100000	2027/6/20	0.86
日本	国債証券	第357回利付国債(10年)	4,950,000,000	101.87	5,042,756,200	100.87	4,993,213,500	0.100000	2029/12/20	0.85
日本	国債証券	第130回利付国債(5年)	4,950,000,000	100.69	4,984,254,000	100.40	4,970,047,500	0.100000	2021/12/20	0.85
日本	国債証券	第142回利付国債(20年)	4,110,000,000	122.79	5,046,684,300	120.29	4,944,124,500	1.800000	2032/12/20	0.85
日本	国債証券	第343回利付国債(10年)	4,710,000,000	101.46	4,778,917,000	101.41	4,776,411,000	0.100000	2026/6/20	0.82
日本	国債証券	第141回利付国債(5年)	4,640,000,000	101.01	4,687,267,200	100.98	4,685,843,200	0.100000	2024/9/20	0.80
日本	国債証券	第335回利付国債(10年)	4,470,000,000	103.61	4,631,367,000	102.83	4,596,635,100	0.500000	2024/9/20	0.79
日本	国債証券	第345回利付国債(10年)	4,440,000,000	102.22	4,538,637,000	101.59	4,510,729,200	0.100000	2026/12/20	0.77
日本	国債証券	第334回利付国債(10年)	4,330,000,000	103.96	4,501,554,600	103.07	4,463,147,500	0.600000	2024/6/20	0.76
日本	国債証券	第133回利付国債(20年)	3,640,000,000	121.85	4,435,596,200	119.34	4,344,267,200	1.800000	2031/12/20	0.74
日本	国債証券	第352回利付国債(10年)	4,090,000,000	101.72	4,160,348,000	101.49	4,150,981,900	0.100000	2028/9/20	0.71
日本	国債証券	第356回利付国債(10年)	4,000,000,000	101.45	4,058,019,000	100.99	4,039,760,000	0.100000	2029/9/20	0.69
日本	国債証券	第336回利付国債(10年)	3,880,000,000	103.78	4,026,664,000	102.99	3,996,089,600	0.500000	2024/12/20	0.68

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	投資比率(%)
国債証券	84.00
地方債証券	5.14

特殊債券	6.13
社債券	4.49
合計	99.76

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

令和 2年 3月31日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
債券先物取引	大阪取引所	長期国債先物20年06月限	買建	4	円	622,164,400	610,280,000	0.10

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

外国債券インデックスマザーファンド

投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	74,070,513,344	49.79
	フランス	13,736,251,416	9.23
	イタリア	12,737,543,248	8.56
	イギリス	9,286,567,956	6.24
	ドイツ	8,560,481,821	5.75
	スペイン	7,954,256,447	5.35
	ベルギー	3,359,895,436	2.26
	オランダ	2,729,346,664	1.83
	カナダ	2,669,983,158	1.79
	オーストラリア	2,558,494,583	1.72
	オーストリア	2,039,110,571	1.37
	アイルランド	1,014,571,541	0.68
	メキシコ	1,007,099,513	0.68
	ポーランド	804,301,455	0.54
	フィンランド	787,124,429	0.53
	デンマーク	691,971,489	0.47
	マレーシア	623,398,443	0.42
南アフリカ	590,616,366	0.40	
シンガポール	588,144,195	0.40	
スウェーデン	383,701,364	0.26	

	ノルウェー	313,261,355	0.21
	小計	146,506,634,794	98.49
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		2,245,844,931	1.51
純資産総額		148,752,479,725	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

令和2年3月31日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 210815	11,660,000	11,003.80	1,283,043,232	11,261.77	1,313,123,479	2.750000	2021/8/15	0.88
アメリカ	国債証券	3.125 T-NOTE 281115	9,950,000	11,833.08	1,177,392,047	13,153.12	1,308,736,015	3.125000	2028/11/15	0.88
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 231115	8,050,000	11,154.00	897,897,306	11,837.81	952,943,962	2.750000	2023/11/15	0.64
アメリカ	国債証券	1.375 T-NOTE 250131	8,000,000	11,123.88	889,910,850	11,399.09	911,927,381	1.375000	2025/1/31	0.61
フランス	国債証券	1.75 O.A.T 230525	6,850,000	12,883.90	882,547,390	12,838.27	879,421,582	1.750000	2023/5/25	0.59
アメリカ	国債証券	1.625 T-NOTE 220831	7,640,000	10,677.24	815,741,387	11,238.39	858,613,605	1.625000	2022/8/31	0.58
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 241115	7,250,000	10,860.14	787,360,564	11,819.95	856,946,975	2.250000	2024/11/15	0.58
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 240131	7,300,000	10,983.15	801,770,335	11,678.81	852,553,814	2.250000	2024/1/31	0.57
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 270815	6,700,000	10,871.02	728,358,923	12,221.26	818,825,016	2.250000	2027/8/15	0.55
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 280215	6,260,000	11,164.86	698,920,843	12,694.84	794,697,575	2.750000	2028/2/15	0.53
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 251115	6,570,000	10,827.73	711,382,173	11,965.34	786,123,387	2.250000	2025/11/15	0.53
アメリカ	国債証券	1.125 T-NOTE 210731	7,100,000	10,790.20	766,104,432	11,023.28	782,653,495	1.125000	2021/7/31	0.53
アメリカ	国債証券	1.875 T-NOTE 220531	6,760,000	10,857.79	733,987,190	11,267.30	761,669,881	1.875000	2022/5/31	0.51
アメリカ	国債証券	2.5 T-NOTE 240131	6,400,000	11,003.73	704,238,930	11,786.79	754,355,145	2.500000	2024/1/31	0.51
アメリカ	国債証券	3.625 T-BOND 440215	4,550,000	12,830.25	583,776,672	16,259.88	739,824,639	3.625000	2044/2/15	0.50
アメリカ	国債証券	3.75 T-BOND 431115	4,450,000	13,238.93	589,132,812	16,521.75	735,218,069	3.750000	2043/11/15	0.49
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 250630	6,000,000	11,404.94	684,296,921	12,198.31	731,898,755	2.750000	2025/6/30	0.49
アメリカ	国債証券	3 T-BOND 441115	4,900,000	11,667.87	571,726,094	14,885.90	729,409,268	3.000000	2044/11/15	0.49
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 250831	5,840,000	11,152.52	651,307,419	12,231.47	714,317,948	2.750000	2025/8/31	0.48
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 240215	5,960,000	11,123.61	662,967,533	11,891.37	708,726,127	2.750000	2024/2/15	0.48
フランス	国債証券	3 O.A.T 220425	5,500,000	12,849.83	706,740,746	12,857.64	707,170,307	3.000000	2022/4/25	0.48
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 221130	6,200,000	10,926.63	677,451,651	11,385.48	705,900,288	2.000000	2022/11/30	0.47

アメリカ	国債証券	2.625 T-NOTE 290215	5,320,000	11,154.26	593,406,892	12,733.96	677,446,684	2.625000	2029/2/15	0.46
アメリカ	国債証券	3.125 T-BOND 440815	4,450,000	11,668.08	519,229,737	15,154.57	674,378,699	3.125000	2044/8/15	0.45
アメリカ	国債証券	3.375 T-BOND 440515	4,240,000	12,892.00	546,620,876	15,712.33	666,202,845	3.375000	2044/5/15	0.45
アメリカ	国債証券	1.5 T-NOTE 211031	6,000,000	10,879.40	652,764,517	11,101.08	666,065,107	1.500000	2021/10/31	0.45
アメリカ	国債証券	1.5 T-NOTE 260815	5,700,000	10,381.55	591,748,518	11,553.83	658,568,590	1.500000	2026/8/15	0.44
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 211231	5,850,000	10,825.18	633,273,267	11,219.69	656,352,029	2.000000	2021/12/31	0.44
アメリカ	国債証券	2.875 T-NOTE 280815	5,060,000	11,274.10	570,469,856	12,877.64	651,609,082	2.875000	2028/8/15	0.44
アメリカ	国債証券	1.875 T-NOTE 220430	5,700,000	10,794.84	615,306,319	11,255.40	641,557,951	1.875000	2022/4/30	0.43

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 3月31日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	98.49
合計	98.49

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

投資状況

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率（％）
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		1,248,231,958	100.00
純資産総額		1,248,231,958	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

該当事項はありません。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報

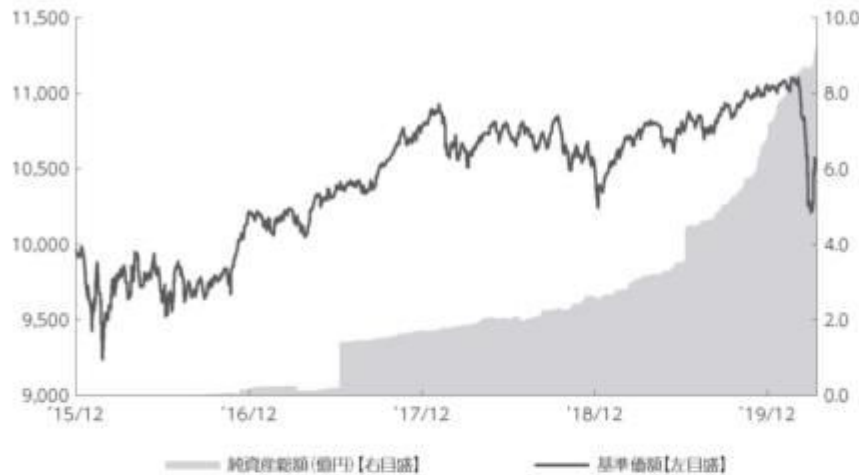


運用実績

2020年3月31日現在

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030 (確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2015年12月18日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	10,517円
純資産総額	9.2億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
2017年9月	0円
2016年9月	0円
設定来累計	0円

●分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

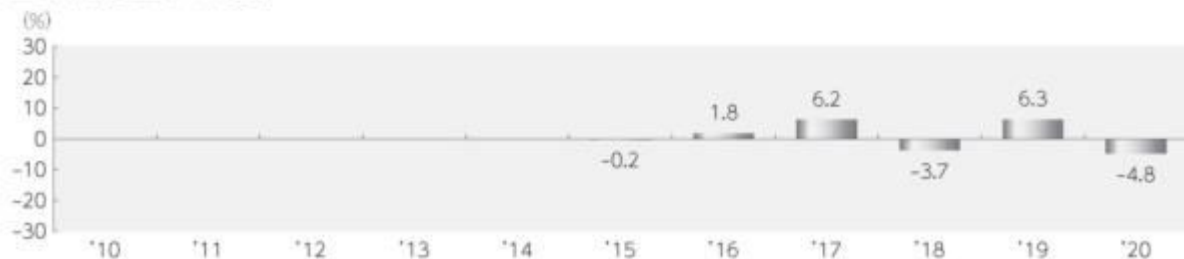
資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国+地域	比率
国内株式	15.6%	1 円	86.9%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	0.6%
国内債券	65.9%	2 アメリカドル	8.3%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.3%
外国株式	7.7%	3 ユーロ	2.7%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.3%
外国債券	4.9%	4 イギリスポンド	0.7%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア/機器	アメリカ	0.3%
		5 カナダドル	0.4%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.3%
		6 スイスフラン	0.3%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	1.1%
		7 オーストラリアドル	0.3%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.9%
		8 香港ドル	0.1%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.9%
		9 スウェーデンクローネ	0.1%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.8%
		10 デンマーククローネ	0.1%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.8%
コールローン他 (負債控除後)	5.9%							
合計	100.0%							

■その他資産の状況

株指指数先物取引 (買建)	0.8%
債券先物取引 (買建)	0.1%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

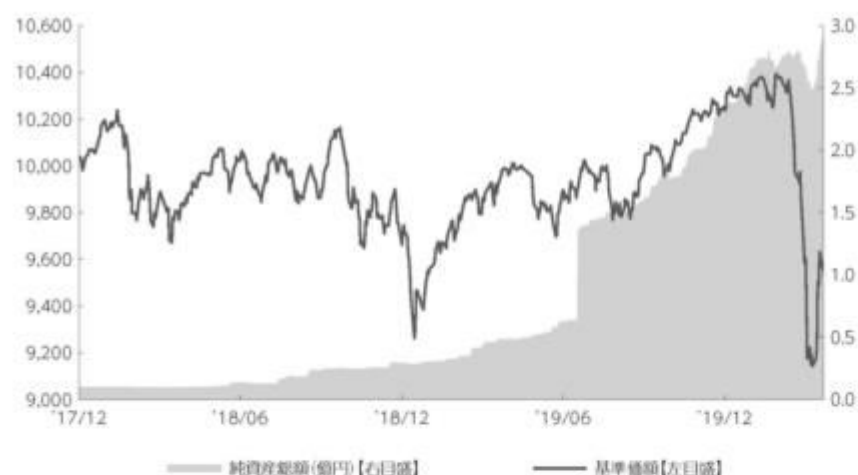


- 収益率は基準価額で計算
- 2015年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2017年12月11日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	9,554円
純資産総額	2.8億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
設定来累計	0円

•分配金は1万円当たり、税引前

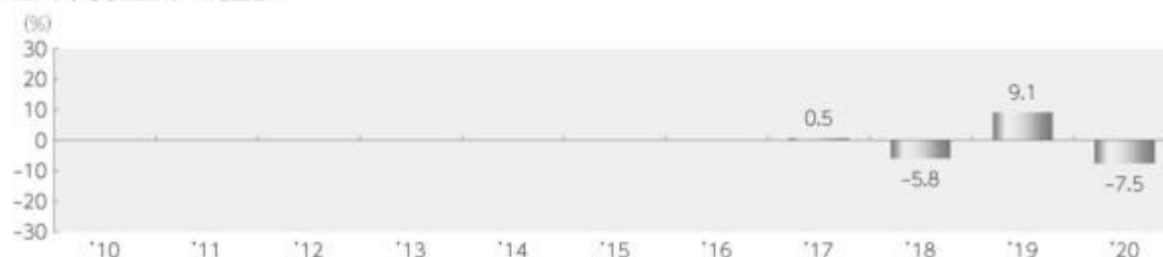
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/権別	国・地域	比率
国内株式	24.2%	1 円	82.0%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	0.9%
国内債券	56.3%	2 アメリカドル	11.8%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.5%
外国株式	12.4%	3 ユーロ	3.2%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.4%
外国債券	4.9%	4 イギリスポンド	1.0%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア/機器	アメリカ	0.4%
		5 カナダドル	0.5%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.4%
		6 スイスフラン	0.5%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.9%
		7 オーストラリアドル	0.4%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.8%
		8 香港ドル	0.2%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.8%
コールローン他 (負債控除後)	2.2%	9 スウェーデンクローネ	0.1%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.7%
合計	100.0%	10 デンマーククローネ	0.1%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.7%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引 (買建)	1.2%
債券先物取引 (買建)	0.1%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

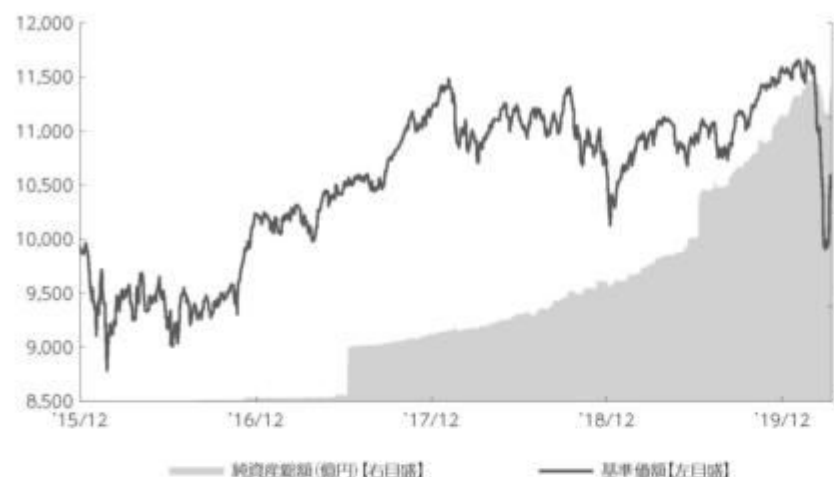


- 収益率は基準価額で計算
- 2017年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2015年12月18日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	10,477円
純資産総額	6.6億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
2017年9月	0円
2016年9月	0円
設定来累計	0円

•分配金は1万口当たり、税引前

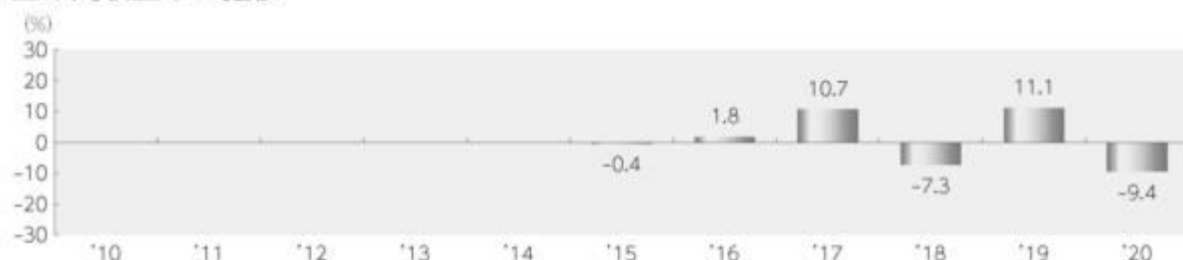
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	32.0%	1 円	79.1%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.2%
国内債券	45.4%	2 アメリカドル	13.9%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.7%
外国株式	15.2%	3 ユーロ	3.5%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.5%
外国債券	4.8%	4 イギリスポンド	1.1%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.5%
		5 カナダドル	0.6%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア/電器	アメリカ	0.5%
		6 スイスフラン	0.6%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.7%
		7 オーストラリアドル	0.4%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.6%
コールローン他 (負債控除後)	2.6%	8 香港ドル	0.2%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.6%
合計	100.0%	9 スウェーデンクローネ	0.2%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.5%
		10 デンマーククローネ	0.1%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.5%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引(買建)	1.6%
債券先物取引(買建)	0.0%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

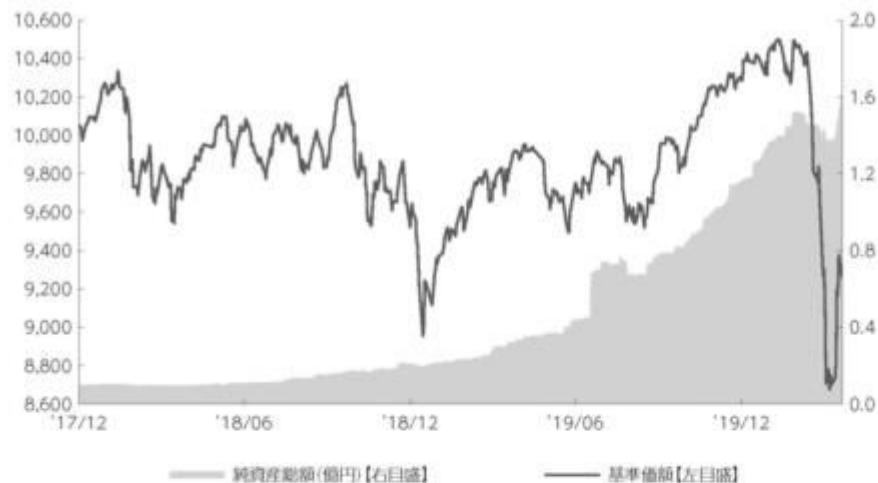


- 収益率は基準価額で計算
- 2015年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2017年12月11日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	9,262円
純資産総額	1.6億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
設定来累計	0円

●分配金は1万口当たり、税引前

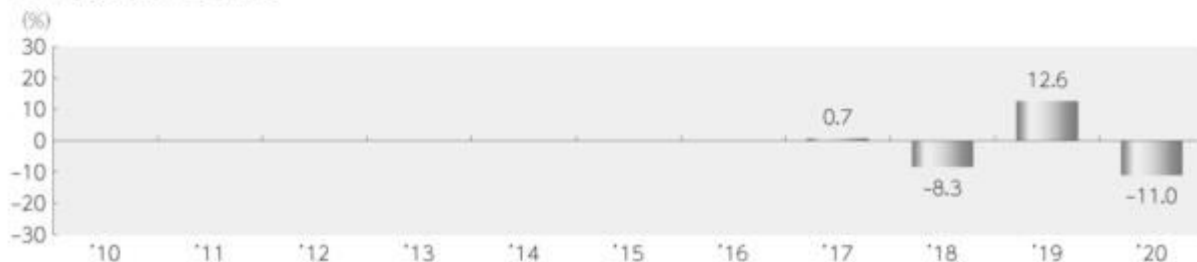
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国/地域	比率
国内株式	36.7%	1 円	76.0%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.3%
国内債券	37.4%	2 アメリカドル	16.1%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.8%
外国株式	18.2%	3 ユーロ	3.8%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.7%
外国債券	4.8%	4 イギリスポンド	1.3%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア機器	アメリカ	0.6%
		5 カナダドル	0.7%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.6%
		6 スイスフラン	0.7%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.6%
		7 オーストラリアドル	0.5%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.5%
		8 香港ドル	0.2%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.5%
コールローン他 (負債控除後)	2.9%	9 スウェーデンクローネ	0.2%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
合計	100.0%	10 デンマーククローネ	0.2%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引(買建)	1.9%
債券先物取引(買建)	0.0%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

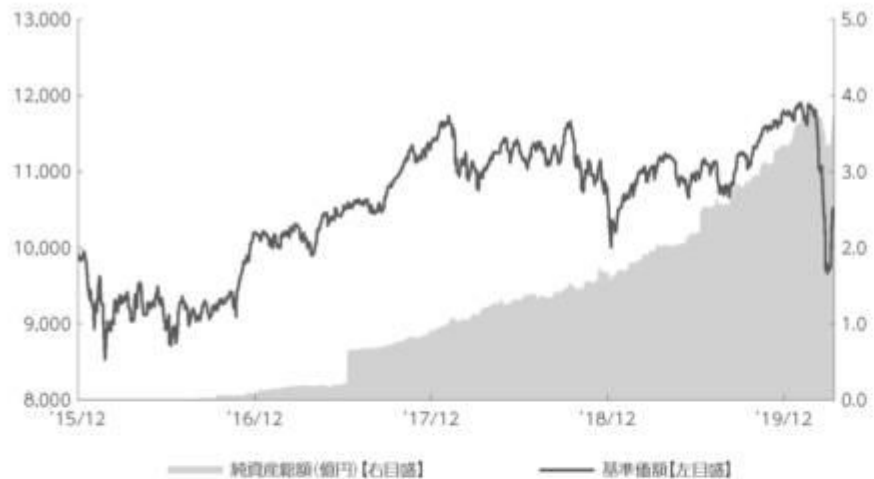


- 収益率は基準価額で計算
- 2017年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2015年12月18日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	10,374円
純資産総額	3.7億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
2017年9月	0円
2016年9月	0円
設定来累計	0円

•分配金は1万円当たり、税引前

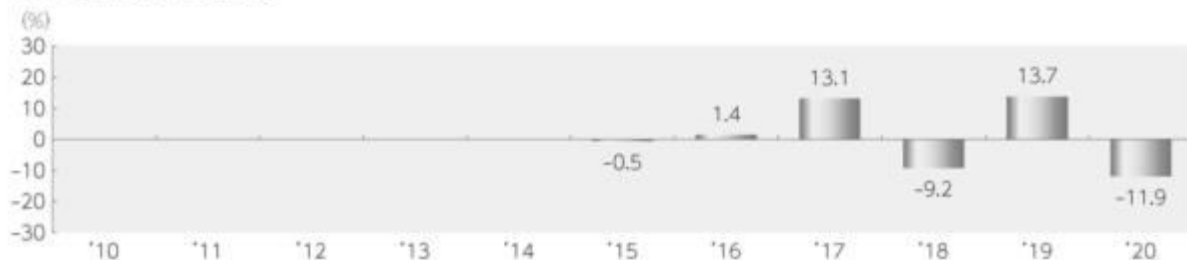
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	39.7%	1 円	73.9%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.5%
国内債券	32.3%	2 アメリカドル	17.6%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.8%
外国株式	20.1%	3 ユーロ	4.0%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.7%
外国債券	4.9%	4 イギリスポンド	1.4%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア/機器	アメリカ	0.7%
		5 スイスフラン	0.8%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.7%
		6 カナダドル	0.8%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.5%
		7 オーストラリアドル	0.5%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.5%
		8 香港ドル	0.3%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.5%
		9 スウェーデンクローネ	0.2%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
		10 デンマーククローネ	0.2%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
コールローン他 (負債控除後)	3.0%							
合計	100.0%							

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引(買建)	2.0%
債券先物取引(買建)	0.0%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

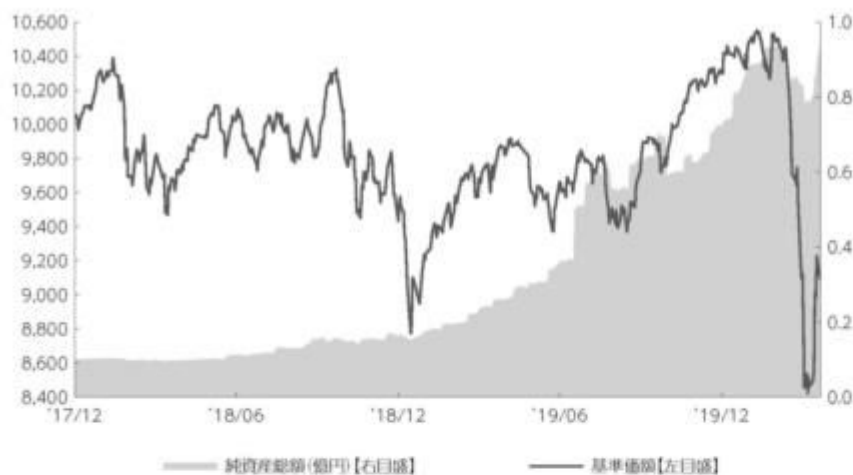


- 収益率は基準価額で計算
- 2015年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2017年12月11日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	9,095円
純資産総額	0.9億円

■分配の推移

2019年9月	0円
2018年9月	0円
設定来累計	0円

●分配金は1万口当たり、税引前

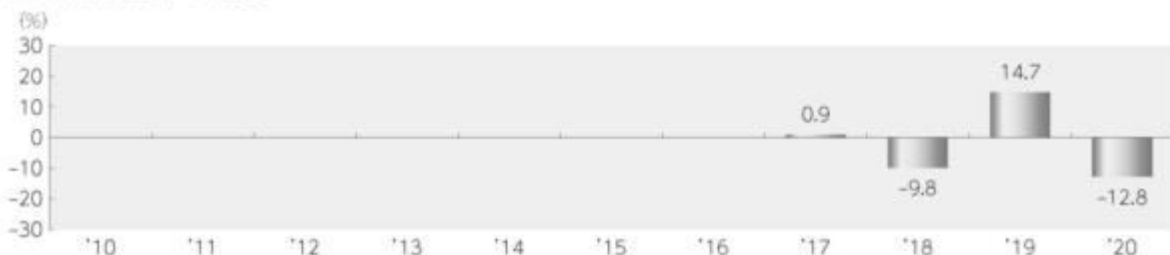
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	43.6%	1 円	72.9%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.6%
国内債券	27.3%	2 アメリカドル	18.3%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.9%
外国株式	21.1%	3 ユーロ	4.2%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.8%
外国債券	4.9%	4 イギリスポンド	1.5%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.7%
		5 スイスフラン	0.8%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ソフトウェア機器	アメリカ	0.7%
		6 カナダドル	0.8%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.4%
		7 オーストラリアドル	0.6%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
		8 香港ドル	0.3%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.4%
コールローン他 (負債控除後)	3.1%	9 スウェーデンクローネ	0.2%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%
合計	100.0%	10 デンマーククローネ	0.2%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引(買建)	2.2%
債券先物取引(買建)	0.0%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

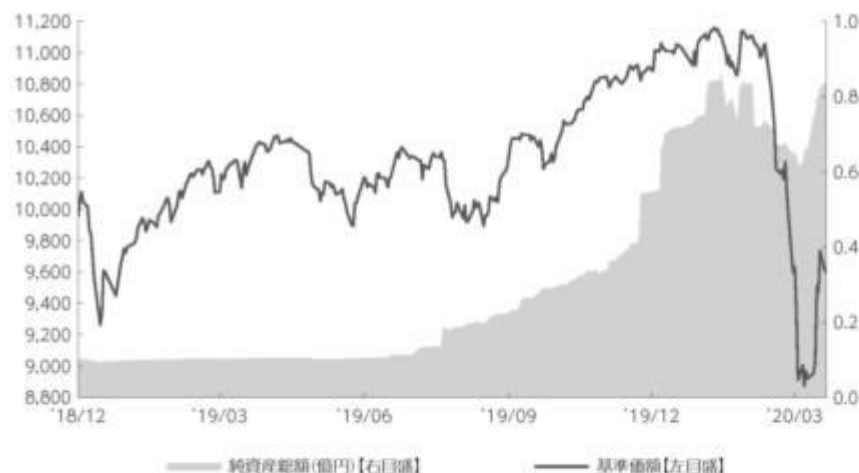


- 収益率は基準価額で計算
- 2017年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)

■基準価額・純資産の推移 2018年12月11日(設定日)～2020年3月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	9,595円
純資産総額	0.8億円

■分配の推移

2019年9月	0円
設定来累計	0円

●分配金は1万口当たり、税引前

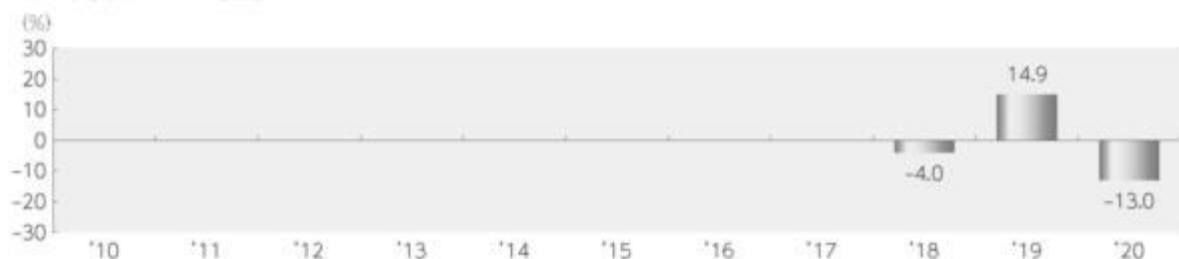
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	43.4%	1 円	71.8%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.6%
国内債券	26.3%	2 アメリカドル	19.0%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.9%
外国株式	22.0%	3 ユーロ	4.3%	MICROSOFT CORP	株式	ソフトウェア・サービス	アメリカ	0.8%
外国債券	4.9%	4 イギリスポンド	1.5%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェア/機器	アメリカ	0.8%
		5 スイスフラン	0.9%	日本電信電話	株式	情報・通信業	日本	0.7%
		6 カナダドル	0.9%	第408回利付国債(2年)	債券	国債	日本	0.4%
		7 オーストラリアドル	0.6%	第342回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.4%
コールローン他 (負債控除後)	3.4%	8 香港ドル	0.3%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.4%
合計	100.0%	9 スウェーデンクローネ	0.2%	第339回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%
		10 デンマーククローネ	0.2%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引(買建)	2.2%
債券先物取引(買建)	0.0%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移



- 収益率は基準価額で計算
- 2018年は設定日から年末までの、2020年は年初から3月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）
 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）
 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）
 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）
 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）
 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- 2 当ファンドは、当中間計算期間より中間財務諸表を作成しているため、中間損益及び剰余金計算書に係る比較情報は記載しておりません。

- 3 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第4期 [令和1年9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和2年3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	3,586,511	10,082,514
親投資信託受益証券	485,766,950	853,020,527
未収入金	2,008,960	-
流動資産合計	491,362,421	863,103,041
資産合計	491,362,421	863,103,041

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	65,780
未払受託者報酬	82,858	146,952
未払委託者報酬	621,389	1,102,145
未払利息	6	19
その他未払費用	7,398	13,171
流動負債合計	711,651	1,328,067
負債合計	711,651	1,328,067
純資産の部		
元本等		
元本	452,154,818	815,839,527
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	38,495,952	45,935,447
（分配準備積立金）	9,908,287	9,273,745
元本等合計	490,650,770	861,774,974
純資産合計	490,650,770	861,774,974
負債純資産合計	491,362,421	863,103,041

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	2	21
有価証券売買等損益	1,191,473	27,333,705
営業収益合計	1,191,475	27,333,684
営業費用		
支払利息	682	1,147
受託者報酬	54,435	146,952
委託者報酬	408,203	1,102,145
その他費用	4,863	13,171
営業費用合計	468,183	1,263,415
営業利益又は営業損失（ ）	723,292	28,597,099
経常利益又は経常損失（ ）	723,292	28,597,099
中間純利益又は中間純損失（ ）	723,292	28,597,099
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	360	227,993
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	13,382,132	38,495,952
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,605,243	39,767,564
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	5,605,243	39,767,564
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,224,737	3,502,977
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,224,737	3,502,977
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	18,486,290	45,935,447

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	209,609,009円	452,154,818円
期中追加設定元本額	279,403,656円	403,271,506円
期中一部解約元本額	36,857,847円	39,586,797円
2. 受益権の総数	452,154,818口	815,839,527口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>

区分	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.0851円	1.0563円
(1万口当たり純資産額)	(10,851円)	(10,563円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,034,313	2,499,000
親投資信託受益証券	157,986,244	263,758,246
未収入金	729,723	684,065
流動資産合計	159,750,280	266,941,311
資産合計	159,750,280	266,941,311
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	19,725	49,567
未払委託者報酬	157,773	396,473
未払利息	1	4
その他未払費用	1,706	4,403

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
流動負債合計	179,205	450,447
負債合計	179,205	450,447
純資産の部		
元本等		
元本	160,052,648	278,088,152
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	481,573	11,597,288
（分配準備積立金）	1,386,439	1,148,930
元本等合計	159,571,075	266,490,864
純資産合計	159,571,075	266,490,864
負債純資産合計	159,750,280	266,941,311

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	-	6
有価証券売買等損益	95,276	13,336,595
営業収益合計	95,276	13,336,589
営業費用		
支払利息	14	324
受託者報酬	6,169	49,567
委託者報酬	49,345	396,473
その他費用	497	4,403
営業費用合計	56,025	450,767
営業利益又は営業損失（ ）	151,301	13,787,356
経常利益又は経常損失（ ）	151,301	13,787,356
中間純利益又は中間純損失（ ）	151,301	13,787,356
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	21,808	604,224
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	320,672	481,573
剰余金増加額又は欠損金減少額	14,308	3,560,648
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	14,308	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	3,560,648
剰余金減少額又は欠損金増加額	394,940	284,783
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	284,783
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	394,940	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	874,413	11,597,288

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	23,798,874円	160,052,648円
期中追加設定元本額	150,328,384円	163,063,824円
期中一部解約元本額	14,074,610円	45,028,320円
2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	481,573円	11,597,288円
3. 受益権の総数	160,052,648口	278,088,152口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>（1）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>（3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>（1）有価証券 同左</p> <p>（2）デリバティブ取引 同左</p> <p>（3）上記以外の金融商品 同左</p>

区分	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	0.9970円	0.9583円
(1万口当たり純資産額)	(9,970円)	(9,583円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	4,097,379	5,756,712
親投資信託受益証券	480,463,160	631,292,172
未収入金	2,257,144	1,993,701
流動資産合計	486,817,683	639,042,585
資産合計	486,817,683	639,042,585
負債の部		
流動負債		
未払解約金	809,625	-
未払受託者報酬	80,550	128,188
未払委託者報酬	644,314	1,025,428
未払利息	7	10

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
その他未払費用	7,186	11,479
流動負債合計	1,541,682	1,165,105
負債合計	1,541,682	1,165,105
純資産の部		
元本等		
元本	440,347,236	608,185,251
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	44,928,765	29,692,229
（分配準備積立金）	7,023,682	6,613,734
元本等合計	485,276,001	637,877,480
純資産合計	485,276,001	637,877,480
負債純資産合計	486,817,683	639,042,585

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	1	19
有価証券売買等損益	2,905,673	37,762,752
営業収益合計	2,905,672	37,762,733
営業費用		
支払利息	639	934
受託者報酬	52,633	128,188
委託者報酬	420,973	1,025,428
その他費用	4,695	11,479
営業費用合計	478,940	1,166,029
営業利益又は営業損失（ ）	3,384,612	38,928,762
経常利益又は経常損失（ ）	3,384,612	38,928,762
中間純利益又は中間純損失（ ）	3,384,612	38,928,762
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	442,732	840,862
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	18,918,156	44,928,765
剰余金増加額又は欠損金減少額	7,242,088	27,816,744
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	7,242,088	27,816,744
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,448,907	3,283,656
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,448,907	3,283,656
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	21,769,457	29,692,229

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	192,182,374円	440,347,236円
期中追加設定元本額	273,481,532円	198,432,766円
期中一部解約元本額	25,316,670円	30,594,751円
2. 受益権の総数	440,347,236口	608,185,251口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.1020円	1.0488円
(1万口当たり純資産額)	(11,020円)	(10,488円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	414,843	1,708,991
親投資信託受益証券	76,852,589	141,251,568
未収入金	453,854	-
流動資産合計	77,721,286	142,960,559
資産合計	77,721,286	142,960,559
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	10,973	25,132
未払委託者報酬	87,722	201,002
未払利息	-	3
その他未払費用	918	2,206
流動負債合計	99,613	228,343
負債合計	99,613	228,343
純資産の部		
元本等		
元本	79,073,801	153,965,219
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,452,128	11,233,003
（分配準備積立金）	526,721	472,719
元本等合計	77,621,673	142,732,216
純資産合計	77,621,673	142,732,216
負債純資産合計	77,721,286	142,960,559

（2）【中間損益及び剰余金計算書】

	第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	-	2
有価証券売買等損益	280,623	10,850,055
営業収益合計	280,623	10,850,053
営業費用		
支払利息	4	150
受託者報酬	4,282	25,132
委託者報酬	34,140	201,002
その他費用	317	2,206
営業費用合計	38,743	228,490
営業利益又は営業損失()	319,366	11,078,543
経常利益又は経常損失()	319,366	11,078,543
中間純利益又は中間純損失()	319,366	11,078,543
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	24,510	277,599
期首剰余金又は期首欠損金()	249,672	1,452,128
剰余金増加額又は欠損金減少額	47,111	1,575,267
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	47,111	61,987
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	1,513,280
剰余金減少額又は欠損金増加額	487,682	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	487,682	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	985,099	11,233,003

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	15,358,446円	79,073,801円
期中追加設定元本額	77,368,247円	86,785,246円
期中一部解約元本額	13,652,892円	11,893,828円
2. 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	1,452,128円	11,233,003円
3. 受益権の総数	79,073,801口	153,965,219口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	0.9816円	0.9270円
(1万口当たり純資産額)	(9,816円)	(9,270円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,490,555	3,272,208
親投資信託受益証券	276,379,226	346,413,581
未収入金	720,463	1,054,406
流動資産合計	279,590,244	350,740,195
資産合計	279,590,244	350,740,195
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	23,598
未払受託者報酬	49,282	71,975
未払委託者報酬	394,165	575,724
未払利息	4	6
その他未払費用	4,373	6,416
流動負債合計	447,824	677,719
負債合計	447,824	677,719
純資産の部		
元本等		
元本	252,844,630	337,329,198
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	26,297,790	12,733,278
（分配準備積立金）	4,964,737	4,428,320
元本等合計	279,142,420	350,062,476
純資産合計	279,142,420	350,062,476
負債純資産合計	279,590,244	350,740,195

（2）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	-	11
有価証券売買等損益	2,934,643	26,290,628
営業収益合計	2,934,643	26,290,617
営業費用		
支払利息	393	510
受託者報酬	34,798	71,975
委託者報酬	278,316	575,724
その他費用	3,083	6,416

	第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業費用合計	316,590	654,625
営業利益又は営業損失()	3,251,233	26,945,242
経常利益又は経常損失()	3,251,233	26,945,242
中間純利益又は中間純損失()	3,251,233	26,945,242
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	108,290	1,158,274
期首剰余金又は期首欠損金()	13,976,676	26,297,790
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,429,788	18,036,982
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	5,429,788	18,036,982
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,205,348	3,497,978
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,205,348	3,497,978
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	15,058,173	12,733,278

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	125,541,226円	252,844,630円
期中追加設定元本額	152,123,052円	116,199,818円
期中一部解約元本額	24,819,648円	31,715,250円
2. 受益権の総数	252,844,630口	337,329,198口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第5期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませ	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記) に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品 (コールローン等) は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第4期 [令和 1年 9月10日現在]	第5期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1,1040円	1,0377円
(1万口当たり純資産額)	(11,040円)	(10,377円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055 (確定拠出年金) 】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	711,191	802,476
親投資信託受益証券	63,897,933	82,003,123
未収入金	8,015	212,469
流動資産合計	64,617,139	83,018,068
資産合計	64,617,139	83,018,068
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	8,883	16,394
未払委託者報酬	70,974	131,156
未払利息	1	1
その他未払費用	730	1,417
流動負債合計	80,588	148,968
負債合計	80,588	148,968
純資産の部		
元本等		
元本	66,364,634	91,115,760
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 ()	1,828,083	8,246,660
(分配準備積立金)	472,592	305,193
元本等合計	64,536,551	82,869,100
純資産合計	64,536,551	82,869,100
負債純資産合計	64,617,139	83,018,068

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益		
受取利息	-	1
有価証券売買等損益	251,429	7,118,035
営業収益合計	251,429	7,118,034
営業費用		
支払利息	1	79
受託者報酬	3,594	16,394
委託者報酬	28,759	131,156
その他費用	257	1,417
営業費用合計	32,611	149,046
営業利益又は営業損失 ()	284,040	7,267,080
経常利益又は経常損失 ()	284,040	7,267,080
中間純利益又は中間純損失 ()	284,040	7,267,080
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額 ()	34,900	634,654
期首剰余金又は期首欠損金 ()	288,416	1,828,083
剰余金増加額又は欠損金減少額	27,687	1,483,157
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	27,687	518,866
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	964,291
剰余金減少額又は欠損金増加額	426,268	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	426,268	-

	第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	1,005,937	8,246,660

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	15,639,918円	66,364,634円
期中追加設定元本額	59,246,242円	55,947,636円
期中一部解約元本額	8,521,526円	31,196,510円
2. 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	1,828,083円	8,246,660円
3. 受益権の総数	66,364,634口	91,115,760口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成30年 9月11日 至 平成31年 3月10日	第3期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券	(1) 有価証券

区分	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>（3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>同左</p> <p>（2）デリバティブ取引 同左</p> <p>（3）上記以外の金融商品 同左</p> <p>同左</p>

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第2期 [令和 1年 9月10日現在]	第3期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	0.9725円	0.9095円
(1万口当たり純資産額)	(9,725円)	(9,095円)

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）】

（1）【中間貸借対照表】

	第1期 [令和 1年 9月10日現在]	第2期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	149,916	781,536
親投資信託受益証券	22,018,596	63,938,165
未収入金	104,899	-
流動資産合計	22,273,411	64,719,701
資産合計	22,273,411	64,719,701
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	3,833	11,619
未払委託者報酬	30,646	92,890
未払利息	-	1
その他未払費用	308	989
流動負債合計	34,787	105,499
負債合計	34,787	105,499
純資産の部		
元本等		
元本	21,654,164	67,334,603
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	584,460	2,720,401
（分配準備積立金）	336,452	209,903
元本等合計	22,238,624	64,614,202
純資産合計	22,238,624	64,614,202
負債純資産合計	22,273,411	64,719,701

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第2期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
営業収益	
有価証券売買等損益	6,834,128
営業収益合計	6,834,128
営業費用	
支払利息	47
受託者報酬	11,619
委託者報酬	92,890
その他費用	989
営業費用合計	105,545
営業利益又は営業損失（ ）	6,939,673
経常利益又は経常損失（ ）	6,939,673
中間純利益又は中間純損失（ ）	6,939,673
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	665,847
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	584,460
剰余金増加額又は欠損金減少額	6,480,520
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	6,480,520
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,179,861
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,179,861
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	2,720,401

(3) 【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第1期 [令和 1年 9月10日現在]	第2期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 期首元本額	10,000,000円	21,654,164円
期中追加設定元本額	12,173,546円	76,043,754円
期中一部解約元本額	519,382円	30,363,315円
2. 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	円	2,720,401円
3. 受益権の総数	21,654,164口	67,334,603口

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第2期中間計算期間 自 令和 1年 9月11日 至 令和 2年 3月10日
該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [令和 1年 9月10日現在]	第2期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品

区分	第1期 [令和 1年 9月10日現在]	第2期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同左
	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第1期 [令和 1年 9月10日現在]	第2期中間計算期間末 [令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.0270円	0.9596円
(1万口当たり純資産額)	(10,270円)	(9,596円)

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

TOPIXマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[令和 2年 3月10日現在]

資産の部

流動資産

[令和 2年 3月10日現在]

コール・ローン	104,808,380,800
株式	218,350,143,590
派生商品評価勘定	103,139,800
未収配当金	559,319,557
未収利息	1,042,259
その他未収収益	61,578,322
差入委託証拠金	240,090,000
流動資産合計	324,123,694,328
資産合計	324,123,694,328
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	8,387,300
前受金	5,719,000
未払解約金	1,106,074,442
未払利息	198,130
受入担保金	99,699,614,448
流動負債合計	100,819,993,320
負債合計	100,819,993,320
純資産の部	
元本等	
元本	144,141,945,579
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	79,161,755,429
元本等合計	223,303,701,008
純資産合計	223,303,701,008
負債純資産合計	324,123,694,328

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和 2年 3月10日現在]
1. 期首	令和 1年 9月11日
期首元本額	141,486,347,901円
期中追加設定元本額	134,322,156,336円
期中一部解約元本額	131,666,558,658円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（国内株式）	208,461,828円
eMAXIS TOPIXインデックス	10,421,139,377円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	2,260,941,760円
eMAXIS バランス（波乗り型）	102,551,160円
コアバランス	480,666円

[令和 2年 3月10日現在]

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	85,850,308円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	133,550,445円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	92,092,450円
eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	8,217,665,240円
国内株式セレクション(ラップ向け)	1,310,049,713円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	3,473,812,290円
つみたて日本株式(TOPIX)	3,416,429,204円
つみたて8資産均等バランス	1,380,263,157円
つみたて4資産均等バランス	367,898,241円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,855,537円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	2,843,289円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	2,982,912円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	41,952,150円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	34,967,209円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	24,057,511円
eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	288,273,220円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)	18,714,798円
国内株式インデックス・オープン(ラップ向け)	1,615,570,363円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	24,394,711円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	180,003,914円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	318,306,696円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	100,936,897円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	120,587,871円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	374,253,242円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	274,871,885円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	556,298,980円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	41,629,367円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	9,264,897,540円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	234,706,933円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	2,647,440,901円
MUAM 日本株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	21,566,767,182円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	432,954,489円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	5,549,450円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	5,131,623円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ バランスファンド50VA（適格機関投資家限定）	427,005,651円
三菱UFJ バランスファンド20VA（適格機関投資家限定）	881,409,086円
MUAMトピックリスクコントロール（5%）インデックスファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）	2,998,119円
MUAMトピックリスクコントロール（10%）インデックスファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）	200,858,235円
MUAM インデックスファンドTOPIXi（適格機関投資家限定）	8,726,654円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	949,819,910円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	66,514,153円
MUKAM 日本株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	3,077,447,008円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2（適格機関投資家限定）	782,874,010円
MUKAM 米国国債プラス日本株式ファンド2019-04（適格機関投資家限定）	158,613,947円
MUKAM 米国国債プラス日本株式ファンド2019-11（適格機関投資家限定）	103,061,597円
三菱UFJ TOPIX・ファンド	7,675,123,642円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	4,757,470円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	17,751,674円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	15,029,910円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	15,356,331円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	1,285,864,674円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA	227,646,276円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	28,569,288円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	235,550,613円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	21,032,129円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	143,918,615円
三菱UFJ <DC>TOPIX・ファンド	1,687,515,280円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	571,029,878円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	2,146,498,567円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	1,834,237,755円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	1,498,827,519円
三菱UFJ DC国内株式インデックスファンド	50,422,773,079円
合計	144,141,945,579円
2. 貸付有価証券 貸借取引契約により以下の通り有価証券の貸付を行っております。 株式	90,829,330,570円

	[令和 2年 3月10日現在]
3. 受益権の総数	144,141,945,579口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 3月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[令和 2年 3月10日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	5,809,373,200		5,904,360,000	94,986,800
	合計	5,809,373,200		5,904,360,000	94,986,800

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

（1口当たり情報）

	[令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.5492円
(1万口当たり純資産額)	(15,492円)

外国株式インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[令和 2年 3月10日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	8,359,861,765
コール・ローン	31,779,287,002
株式	369,460,033,144
投資証券	11,000,440,905
派生商品評価勘定	5,395,133
未収入金	236,478,739
未収配当金	1,017,705,153
差入委託証拠金	1,994,872,043
流動資産合計	423,854,073,884
資産合計	423,854,073,884
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,279,243,834
未払金	33,971,750
未払解約金	30,917,658,681
未払利息	60,075
流動負債合計	32,230,934,340
負債合計	32,230,934,340
純資産の部	
元本等	
元本	157,930,731,730
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	233,692,407,814
元本等合計	391,623,139,544
純資産合計	391,623,139,544
負債純資産合計	423,854,073,884

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。</p> <p>投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。</p>
--------------------	---

2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和 2年 3月10日現在]
1. 期首	令和 1年 9月11日
期首元本額	144,330,606,712円
期中追加設定元本額	117,158,346,831円
期中一部解約元本額	103,558,221,813円
元本の内訳	
MAXIS 海外株式(MSCIコクサイ)上場投信	3,046,039,472円
MAXIS 全世界株式(オール・カントリー)上場投信	276,740,698円
ファンド・マネジャー(海外株式)	61,806,236円
eMAXIS 先進国株式インデックス	14,220,452,320円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	1,315,196,568円
eMAXIS バランス(波乗り型)	306,426,403円
コアバランス	359,674円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	24,851,050円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	37,398,365円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	27,327,600円
eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	28,295,010,524円
海外株式セレクション(ラップ向け)	1,029,904,681円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	2,007,549,967円
つみたて先進国株式	3,492,221,684円
つみたて8資産均等バランス	804,562,514円
つみたて4資産均等バランス	214,193,045円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,254,196円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,951,525円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	2,042,186円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	12,603,851円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	10,042,344円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	6,743,393円
eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	4,269,153,928円

[令和2年3月10日現在]

eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	166,816,616円
eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	5,164,323,158円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金)	5,494,345円
先進国株式インデックスファンド(ラップ向け)	108,172,103円
つみたて全世界株式	276,033円
三菱UFJ DC海外株式インデックスファンド	15,603,982,712円
eMAXIS 全世界株式インデックス	2,555,327,187円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	184,780,554円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	58,031,151円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	74,232,109円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	256,755,927円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	179,640,020円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	379,127,446円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	30,094,839円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	9,042,798,027円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	134,875,163円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	1,518,228,581円
MUAM 外国株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	40,036,678,702円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	2,897,096円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,252,607,144円
MUAM 全世界株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	8,741,246,375円
アドバンスト・バランス(FOFs用)(適格機関投資家限定)	20,148,727円
アドバンスト・バランス(FOFs用)(適格機関投資家限定)	129,000,911円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	735,965,502円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	48,089,615円
MUKAM 外国株式インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	2,117,079,100円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2(適格機関投資家限定)	614,025,893円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンド	2,143,853,433円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	1,379,193円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	4,934,177円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	4,920,735円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	5,728,206円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA	45,830,476円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	8,102,776円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	67,368,154円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	12,084,999円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	84,001,324円
三菱UFJ <DC>外国株式インデックスファンド	5,001,826,278円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定型）	162,860,003円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定成長型）	617,500,270円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （成長型）	601,274,485円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （積極型）	544,539,961円
合計	157,930,731,730円
2. 受益権の総数	157,930,731,730口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 3月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（1）有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（3）上記以外の金融商品</p> <p>上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[令和 2年 3月10日現在]

--	--	--	--	--

区分	種類	契約額等（円）	うち1年超	時価（円）	評価損益（円）
市場取引	株価指数先物取引 買建	13,286,297,978		12,018,198,407	1,268,099,571
	合計	13,286,297,978		12,018,198,407	1,268,099,571

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[令和 2年 3月10日現在]

区分	種類	契約額等（円）	うち1年超	時価（円）	評価損益（円）
市場取引以外 の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	1,647,156,180		1,639,847,800	7,308,380
	カナダドル	64,289,750		64,285,500	4,250
	イギリスポンド	31,027,000		31,024,700	2,300
	スイスフラン	53,278,080		53,275,200	2,880
	香港ドル	7,973,580		7,968,000	5,580
	シンガポールドル	8,947,920		8,947,200	720
	スウェーデンク ローネ	15,260,000		15,246,000	14,000
	ノルウェークロー ネ	6,491,400		6,486,000	5,400
	デンマーククロー ネ	7,875,300		7,875,000	300
	ユーロ	182,385,560		182,218,000	167,560
	売建				
	イスラエルシェケ ル	95,586,240		93,824,000	1,762,240
	合計	2,120,271,010		2,110,997,400	5,749,130

（注）時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	2.4797円
(1万口当たり純資産額)	(24,797円)

日本債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位 : 円)

[令和 2年 3月10日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	5,910,960,867
国債証券	542,411,261,630
地方債証券	34,312,017,495
特殊債券	40,050,122,671
社債券	31,120,134,000
未収入金	2,658,714,200
未収利息	1,462,432,245
前払金	3,120,000
前払費用	202,478,554
差入委託証拠金	19,500,000
流動資産合計	658,150,741,662
資産合計	658,150,741,662
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	27,068,600
未払金	1,110,079,920
未払解約金	390,553,028
未払利息	11,174
流動負債合計	1,527,712,722
負債合計	1,527,712,722
純資産の部	
元本等	
元本	480,943,094,540
剰余金	
剰余金又は欠損金 ()	175,679,934,400
元本等合計	656,623,028,940
純資産合計	656,623,028,940
負債純資産合計	658,150,741,662

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[令和 2年 3月10日現在]
1. 期首	令和 1年 9月11日
期首元本額	479,255,192,655円
期中追加設定元本額	165,531,022,096円
期中一部解約元本額	163,843,120,211円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（国内債券）	121,772,313,855円
eMAXIS 国内債券インデックス	9,314,129,564円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	2,626,420,484円
eMAXIS バランス（波乗り型）	411,738,843円
コアバランス	1,745,744円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	424,474,862円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	218,494,372円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	86,110,013円
eMAXIS Slim 国内債券インデックス	6,240,487,149円
国内債券セレクション（ラップ向け）	4,142,796,072円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	3,892,730,348円
つみたて8資産均等バランス	1,540,076,670円
つみたて4資産均等バランス	430,512,016円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	3,327,551円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	987,594円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	67,992円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	112,678,084円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	40,116,007円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	17,313,477円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	13,116,848円
国内債券インデックスファンド（ラップ向け）	727,931円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	10,738,572,510円
三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	10,874,556,648円
三菱UFJ バランス・イノベーション（新興国投資型）	2,145,626,271円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション（KAKUSHIN）	3,227,294,247円
三菱UFJ バランス・イノベーション（債券重視型）	6,225,395,232円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定型）	248,970,939円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型）	280,964,130円

	[令和 2年 3月10日現在]
eMAXIS 債券バランス(2資産均等型)	77,214,515円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	369,070,890円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	642,296,150円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	364,122,428円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	645,267,709円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	61,864,134円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	12,507,972円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	75,547,903円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	11,416,296,454円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	1,168,625,315円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	4,849,801,219円
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	194,262,964,670円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	520,344,810円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	20,168,185円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	6,190,014円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	4,747,649,631円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	3,275,589,153円
MUKAM バランス・イノベーション(株式抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	20,000,329,738円
MUKAM バランス・イノベーション(リスク抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	7,777,228,705円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	4,233,080,793円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	211,565,913円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家限定)	18,818,550,250円
MUKAM バランス・イノベーション(債券重視型)(適格機関投資家転売制限付)	1,083,773,857円
MUKAM 日本債券インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	4,051,700,857円
MUKAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	732,120円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2(適格機関投資家限定)	3,583,494,244円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	16,483,820円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	29,304,317円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	16,206,472円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	12,656,045円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	89,635,312円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	219,115,390円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	69,879,461円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	144,601,711円
三菱UFJ <DC>日本債券インデックスファンド	4,142,252,418円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定型）	1,968,457,977円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定成長型）	3,657,258,066円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （成長型）	2,037,140,631円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （積極型）	1,232,379,838円
合計	480,943,094,540円
2. 受益権の総数	480,943,094,540口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 3月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（1）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

債券関連

[令和 2年 3月10日現在]

--	--	--	--	--

区分	種類	契約額等(円)	うち1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引	債券先物取引 買建	4,044,040,000		4,017,000,000	27,040,000
	合計	4,044,040,000		4,017,000,000	27,040,000

(注)時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[令和2年3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.3653円
(1万口当たり純資産額)	(13,653円)

外国債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

[令和2年3月10日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	928,816,825
コール・ローン	209,551,482
国債証券	146,041,279,620
派生商品評価勘定	71,038
未収入金	648,904,866
未収利息	857,640,125
前払費用	87,015,921
流動資産合計	148,773,279,877
資産合計	148,773,279,877
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	206,860
未払金	97,049,089
未払解約金	150,545,302
未払利息	396
流動負債合計	247,801,647
負債合計	247,801,647
純資産の部	
元本等	
元本	69,006,537,237
剰余金	
剰余金又は欠損金()	79,518,940,993
元本等合計	148,525,478,230
純資産合計	148,525,478,230

[令和 2年 3月10日現在]

負債純資産合計

148,773,279,877

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和 2年 3月10日現在]
1. 期首	令和 1年 9月11日
期首元本額	68,794,685,023円
期中追加設定元本額	8,069,510,483円
期中一部解約元本額	7,857,658,269円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（海外債券）	1,001,192,381円
eMAXIS 先進国債券インデックス	5,265,422,075円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,797,641,195円
eMAXIS バランス（波乗り型）	228,857,222円
コアバランス	1,678,398円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	20,288,393円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	15,494,463円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	8,555,364円
eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	4,047,654,410円
海外債券セレクション（ラップ向け）	1,805,441,696円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	2,661,581,374円
つみたて8資産均等バランス	1,053,716,900円
つみたて4資産均等バランス	282,559,811円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	608,792円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	310,380円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	42,737円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）	6,352,655円

[令和 2年 3月10日現在]

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）	3,441,892円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）	2,032,034円
三菱UFJ DC年金インデックス（先進国債券）	15,052,645円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）	1,585,486円
三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	10,105,386,560円
eMAXIS バランス（4資産均等型）	242,404,641円
eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	236,569,351円
eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	112,346,623円
eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	120,483,418円
eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）	19,517,124円
eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	7,855,700円
三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	39,926,502円
三菱UFJ バランスファンド40VA（適格機関投資家限定）	2,401,078,646円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）	1,536,993,837円
MUAM 外国債券インデックスファンド（適格機関投資家限定）	24,917,467,940円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型（適格機関投資家限定）	665,304,135円
三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	6,391,687円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）	2,623,243円
三菱UFJ バランスファンド20VA（適格機関投資家限定）	2,082,690,113円
アドバンスト・バランス（FOFs用）（適格機関投資家限定）	100,614,309円
アドバンスト・バランス（FOFs用）（適格機関投資家限定）	136,358,854円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション（適格機関投資家転売制限付）	135,332,181円
世界8資産バランスファンドVL（適格機関投資家限定）	15,919,012円
MUKAM 外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	2,683,277,499円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2（適格機関投資家限定）	131,164,150円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	1,846,625円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	4,635,306円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	3,211,646円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	1,490,504円
三菱UFJ 外国債券インデックスファンドVA	42,097,274円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	23,267,371円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	47,077,255円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	33,078,736円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	54,935,506円
外国債券インデックスファンドi（適格機関投資家限定）	1,548,817,596円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ <DC>外国債券インデックスファンド	2,004,858,413円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (安定型)	218,130,094円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (安定成長型)	553,094,157円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (成長型)	405,015,320円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (積極型)	145,765,606円
合計	69,006,537,237円
2. 受益権の総数	69,006,537,237口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 3月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありせん。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[令和 2年 3月10日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		

市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカドル	15,626,850		15,490,500	136,350
	ユーロ	10,649,790		10,580,400	69,390
	売建				
	アメリカドル	369,702,304		369,670,800	31,504
	カナダドル	14,370,080		14,369,700	380
	オーストラリアドル	14,276,640		14,275,800	840
	イギリスポンド	53,960,000		53,956,000	4,000
	シンガポールドル	3,728,100		3,728,000	100
	スウェーデンクローネ	2,724,850		2,722,500	2,350
	ノルウェークローネ	2,704,600		2,702,500	2,100
	デンマーククローネ	3,780,000		3,780,000	
	メキシコペソ	6,942,880		6,944,000	1,120
	ポーランドズロチ	3,799,936		3,798,200	1,736
	南アフリカランド	3,540,240		3,536,500	3,740
	ユーロ	297,451,088		297,426,800	24,288
	合計	803,257,358		802,981,700	135,822

(注) 時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- (イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- (ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	2.1523円
(1万口当たり純資産額)	(21,523円)

マネー・マーケット・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[令和2年3月10日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	155,359,789
現先取引勘定	999,999,526
流動資産合計	1,155,359,315
資産合計	1,155,359,315
負債の部	
流動負債	
未払解約金	1,015,946
未払利息	293
流動負債合計	1,016,239
負債合計	1,016,239
純資産の部	
元本等	
元本	1,133,654,967
剰余金	
剰余金又は欠損金()	20,688,109
元本等合計	1,154,343,076
純資産合計	1,154,343,076
負債純資産合計	1,155,359,315

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

	[令和2年3月10日現在]
1. 期首	令和1年9月11日
期首元本額	2,240,677,326円
期中追加設定元本額	249,321,914円
期中一部解約元本額	1,356,344,273円
元本の内訳	
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	378,782,763円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)	52,804,813円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	94,842,782円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	236,381円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,017,609円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	29,040,830円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	75,379,110円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	847,016円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	379,197円

	[令和 2年 3月10日現在]
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	640,555円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	88,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	990,664円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	11,916,657円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	7,661,389円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	1,038,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,881,309円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	5,056,177円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)	1,936,118円

	[令和 2年 3月10日現在]
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	5,766,108円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>(毎月分配型)	8,453,960円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>(年2回分配型)	601,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	41,042,383円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,347円
三菱UFJ / ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(毎月決算型)	3,308,438円
三菱UFJ / ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ / ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ / ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2,065,331円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	521,457円

[令和2年3月10日現在]

ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	354,513円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(毎月分配型)	2,542,269円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム(毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)	6,879,079円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム>(毎月分配型)	50,073円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム>(年2回分配型)	30,438円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	796,426円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	413,472円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型>(3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	34,566,731円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90(限定追加型)2016-12	4,349,768円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円

	[令和 2年 3月10日現在]
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>（資産成長型）	256,250円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>（資産成長型）	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>（毎月決算型）	2,259,287円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>（年2回決算型）	17,656,128円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	3,899,063円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>（年2回決算型）	15,671,669円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）（年1回決算型）	82,770円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）（年1回決算型）	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型>（分配コース）	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型>（分配抑制コース）	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>（分配コース）	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>（分配抑制コース）	9,820円
北欧小型株ファンド（為替ヘッジあり）	9,821円
北欧小型株ファンド（為替ヘッジなし）	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
グローバル・インカム・フルコース（為替リスク軽減型）	983円
グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）	983円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
三菱UFJ インド債券オープン（毎月決算型）	39,351円
三菱UFJ / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）	11,293,333円
マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）	9,903,464円
MUAMトピックスリスクコントロール（5%）インデックスファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）	4,803,653円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	14,313,901円
合計	1,133,654,967円
2. 受益権の総数	1,133,654,967口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 3月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、該当事項はありませぬ。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありませぬ。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありませぬ。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありませぬ。

(1口当たり情報)

	[令和 2年 3月10日現在]
1口当たり純資産額	1.0182円
(1万口当たり純資産額)	(10,182円)

2【ファンドの現況】

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

(単位 : 円)

資産総額	923,483,234
負債総額	196,558

純資産総額（ - ）	923,286,676
発行済口数	877,896,288口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0517
（10,000口当たり）	（10,517）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	289,179,514
負債総額	66,103
純資産総額（ - ）	289,113,411
発行済口数	302,607,653口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.9554
（10,000口当たり）	（9,554）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	666,679,336
負債総額	148,969
純資産総額（ - ）	666,530,367
発行済口数	636,211,166口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0477
（10,000口当たり）	（10,477）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	161,331,243
負債総額	39,894
純資産総額（ - ）	161,291,349
発行済口数	174,146,609口

1口当たり純資産価額（ / ）	0.9262
（10,000口当たり）	（9,262）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	374,458,657
負債総額	86,081
純資産総額（ - ）	374,372,576
発行済口数	360,881,716口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0374
（10,000口当たり）	（10,374）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	92,858,590
負債総額	25,944
純資産総額（ - ）	92,832,646
発行済口数	102,066,083口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.9095
（10,000口当たり）	（9,095）

【三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）】

【純資産額計算書】

令和 2年 3月31日現在

（単位：円）

資産総額	84,155,138
負債総額	1,007,160
純資産総額（ - ）	83,147,978
発行済口数	86,657,042口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.9595
（10,000口当たり）	（9,595）

(参考)

TOPIXマザーファンド

純資産額計算書

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

資産総額	265,378,306,329
負債総額	20,665,953,683
純資産総額(-)	244,712,352,646
発行済口数	156,432,896,636口
1口当たり純資産価額(/)	1.5643
(10,000口当たり)	(15,643)

外国株式インデックスマザーファンド

純資産額計算書

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

資産総額	396,928,126,951
負債総額	1,401,848,597
純資産総額(-)	395,526,278,354
発行済口数	161,742,429,506口
1口当たり純資産価額(/)	2.4454
(10,000口当たり)	(24,454)

日本債券インデックスマザーファンド

純資産額計算書

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

資産総額	592,082,501,858
負債総額	7,610,485,052
純資産総額(-)	584,472,016,806
発行済口数	432,539,269,896口
1口当たり純資産価額(/)	1.3513
(10,000口当たり)	(13,513)

外国債券インデックスマザーファンド

純資産額計算書

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

資産総額	150,606,468,520
負債総額	1,853,988,795
純資産総額(-)	148,752,479,725
発行済口数	68,246,120,720口
1口当たり純資産価額(/)	2.1796
(10,000口当たり)	(21,796)

マネー・マーケット・マザーファンド

純資産額計算書

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

資産総額	1,248,232,507
負債総額	549
純資産総額(-)	1,248,231,958
発行済口数	1,225,870,056口
1口当たり純資産価額(/)	1.0182
(10,000口当たり)	(10,182)

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

< 更新後 >

(1) 資本金の額等

2020年3月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・ 会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・ 投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2020年3月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	872	12,674,222
追加型公社債投資信託	16	1,269,684
単位型株式投資信託	64	355,316
単位型公社債投資信託	14	74,863
合計	966	14,374,084

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

(1) 財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度に係る中間会計期間（自平成31年4月1日至令和元年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人

トーマツにより中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)		第34期 (平成31年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	2	54,140,307	2	53,969,686
有価証券		19,967		1,403,513
前払費用		362,886		514,587
未収入金		2,109		2,284
未収委託者報酬		9,770,529		9,995,458
未収収益	2	674,156	2	560,483
金銭の信託	2	30,000	2	100,000
その他		224,645		153,256
流動資産合計		65,224,602		66,699,271
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	760,010	1	617,032
器具備品	1	724,852	1	665,247
土地		1,356,000		628,433
有形固定資産合計		2,840,863		1,910,713
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		2,654,296		3,670,753
ソフトウェア仮勘定		1,097,970		536,345
無形固定資産合計		3,768,090		4,222,921
投資その他の資産				
投資有価証券		26,361,327		21,408,781
関係会社株式		320,136		320,136
投資不動産		-	1	824,268
長期差入保証金		627,141		593,536
前払年金費用		434,700		415,234
繰延税金資産		1,237,989		1,496,180
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		29,002,925		25,079,767
固定資産合計		35,611,879		31,213,401
資産合計		100,836,481		97,912,673

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)		第34期 (平成31年3月31日現在)	
(負債の部)				
流動負債				
預り金		359,176		293,258
未払金				

未払収益分配金		174,333		170,281
未払償還金		456,159		448,695
未払手数料	2	3,905,670	2	3,990,054
その他未払金	2	4,330,584	2	3,961,765
未払費用	2	4,388,803	2	3,803,995
未払消費税等		99,010		194,852
未払法人税等		736,829		573,657
賞与引当金		906,167		901,135
役員賞与引当金		125,343		140,100
その他		842,194		868,992
流動負債合計		16,324,272		15,346,788
固定負債				
長期未払金		-		43,200
退職給付引当金		720,536		860,851
役員退職慰労引当金		187,562		144,303
時効後支払損引当金		254,851		247,767
固定負債合計		1,162,951		1,296,122
負債合計		17,487,223		16,642,910
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		2,000,131		2,000,131
資本剰余金				
資本準備金		3,572,096		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712		44,732,712
利益剰余金				
利益準備金		342,589		342,589
その他利益剰余金				
別途積立金		6,998,000		6,998,000
繰越利益剰余金		27,790,911		26,069,594
利益剰余金合計		35,131,500		33,410,184
株主資本合計		81,864,344		80,143,028

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,484,913	1,126,733
評価・換算差額等合計	1,484,913	1,126,733
純資産合計	83,349,257	81,269,762
負債純資産合計	100,836,481	97,912,673

(2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

営業収益				
委託者報酬		75,423,596		70,375,414
投資顧問料		2,723,458		2,505,299
その他営業収益		48,215		18,844
営業収益合計		78,195,269		72,899,557
営業費用				
支払手数料	2	30,906,879	2	28,533,952
広告宣伝費		730,784		739,643
公告費		1,000		500
調査費				
調査費		1,723,057		1,794,755
委託調査費		13,467,029		12,194,996
事務委託費		864,916		1,016,816
営業雑経費				
通信費		178,652		170,794
印刷費		467,973		427,442
協会費		50,251		48,375
諸会費		15,328		16,175
事務機器関連費		1,635,079		1,841,631
その他営業雑経費		23,250		-
営業費用合計		50,064,204		46,785,083
一般管理費				
給料				
役員報酬		349,359		349,083
給料・手当		6,421,837		6,453,717
賞与引当金繰入		906,167		901,135
役員賞与引当金繰入		125,343		140,100
福利厚生費		1,231,033		1,234,293
交際費		13,012		13,011
旅費交通費		192,192		200,426
租税公課		410,229		373,201
不動産賃借料		678,182		654,886
退職給付費用		423,171		428,912
役員退職慰労引当金繰入		47,889		51,159
固定資産減価償却費		1,115,719		1,252,321
諸経費		450,299		523,213
一般管理費合計		12,364,437		12,575,461
営業利益		15,766,627		13,539,012

(単位：千円)

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	349,402	181,073
受取利息	2 483	2 1,913
投資有価証券償還益	81,580	416,706
収益分配金等時効完成分	91,672	44,392
受取賃貸料	-	2 38,388
その他	9,989	11,871

営業外収益合計		533,128		694,346
営業外費用				
投資有価証券償還損		30,114		118,173
時効後支払損引当金繰入		43,182		1,166
事務過誤費		10,402		420
賃貸関連費用		-		35,994
その他		3,829		1,481
営業外費用合計		87,529		157,235
経常利益		16,212,226		14,076,123
特別利益				
投資有価証券売却益		516,394		501,778
ゴルフ会員権売却益		7,495		
特別利益合計		523,889		501,778
特別損失				
投資有価証券売却損		105,903		135,399
投資有価証券評価損		102,096		62,310
固定資産除却損	1	54	1	4,848
固定資産売却損		-		225
システム関連費		-		322,986
商標使用料		-		90,000
特別損失合計		208,054		615,770
税引前当期純利益		16,528,061		13,962,130
法人税、住民税及び事業税	2	5,252,224	2	4,420,179
法人税等調整額		76,092		100,112
法人税等合計		5,176,132		4,320,066
当期純利益		11,351,928		9,642,064

(3) 【株主資本等変動計算書】

第33期（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147
当期変動額									
剰余金の配当							26,595,731	26,595,731	26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							15,243,802	15,243,802	15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			26,595,731
当期純利益			11,351,928

株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	9,673	9,673	9,673
当期変動額合計	9,673	9,673	15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金			
					別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
当期純利益							9,642,064	9,642,064	9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							1,721,316	1,721,316	1,721,316
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当期変動額			
剰余金の配当			11,363,380
当期純利益			9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	358,179	358,179	358,179
当期変動額合計	358,179	358,179	2,079,495
当期末残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採

用しております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」490,903千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,237,989千円に含めて表示しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

(1) 概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わ

せて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされておりす。

(2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
建物	604,123千円	551,025千円
器具備品	1,215,234千円	1,350,407千円
投資不動産		138,024千円

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
預金	41,809,118千円	240,211千円
未収収益	40,621千円	25,307千円
金銭の信託	30,000千円	100,000千円
未払手数料	1,577,059千円	671,568千円
その他未払金	3,850,734千円	3,217,341千円
未払費用	430,491千円	444,754千円

(損益計算書関係)

1.固定資産除却損の内訳

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
建物		2,547千円
器具備品	54千円	2,301千円
計	54千円	4,848千円

2.関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
支払手数料	11,380,244千円	5,298,064千円
受取利息	380千円	3千円
受取賃貸料		38,388千円
法人税、住民税及び事業税	3,851,536千円	3,216,517千円

(株主資本等変動計算書関係)

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和元年6月27日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
1年内	678,116千円	675,956千円
1年超	1,351,912千円	675,956千円
合計	2,030,029千円	1,351,912千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	-
(2) 有価証券	19,967	19,967	-
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	-
(4) 投資有価証券	26,224,167	26,224,167	-
資産計	90,154,972	90,154,972	-
(1) 未払手数料	3,905,670	3,905,670	-
負債計	3,905,670	3,905,670	-

第34期(平成31年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	53,969,686	53,969,686	-
(2) 有価証券	1,403,513	1,403,513	-
(3) 未収委託者報酬	9,995,458	9,995,458	-
(4) 投資有価証券	21,353,421	21,353,421	-
資産計	86,722,080	86,722,080	-
(1) 未払手数料	3,990,054	3,990,054	-
負債計	3,990,054	3,990,054	-

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
非上場株式	137,160	55,360
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	-	-	-
未収委託者報酬	9,770,529	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

第34期(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	53,969,686	-	-	-
未収委託者報酬	9,995,458	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,403,513	9,358,708	5,874,634	90,573
合計	65,368,659	9,358,708	5,874,634	90,573

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第33期(平成30年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,645,023	8,062,990	417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

第34期(平成31年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,744,545	12,559,380	2,185,164
	小計	14,744,545	12,559,380	2,185,164
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,012,389	8,573,551	561,161
	小計	8,012,389	8,573,551	561,161
合計		22,756,935	21,132,932	1,624,002

3. 売却したその他有価証券

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	8,169,769	516,394	105,903
合計	8,169,769	516,394	105,903

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	140,240	58,440	-
債券	-	-	-
その他	5,222,594	443,338	135,399
合計	5,362,834	501,778	135,399

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について102,096千円（その他有価証券のその他102,096千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について62,310千円（その他有価証券のその他62,310千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,649,089 千円	3,729,252 千円
勤務費用	184,120	193,531
利息費用	27,829	24,351
数理計算上の差異の発生額	56,895	15,898
退職給付の支払額	188,683	218,947
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,729,252	3,712,289

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
年金資産の期首残高	2,698,738 千円	2,723,393 千円
期待運用収益	48,080	48,664
数理計算上の差異の発生額	47,759	4,606
事業主からの拠出額	102,564	102,564
退職給付の支払額	173,748	203,077
年金資産の期末残高	2,723,393	2,666,937

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	3,374,562 千円	3,125,760 千円
年金資産	2,723,393	2,666,937
非積立型制度の退職給付債務	651,168	458,822
未積立退職給付債務	354,690	586,529
未積立退職給付債務	1,005,858	1,045,351
未認識数理計算上の差異	169,893	114,968
未認識過去勤務費用	550,128	484,766
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	285,836	445,616
退職給付引当金	720,536	860,851
前払年金費用	434,700	415,234
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	285,836	445,616

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
勤務費用	184,120 千円	193,531 千円
利息費用	27,829	24,351
期待運用収益	48,080	48,664
数理計算上の差異の費用処理額	47,053	43,633
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	4,780	5,986
確定給付制度に係る退職給付費用	281,066	284,199

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
債券	62.2 %	63.9 %
株式	34.7	33.2
その他	3.1	2.9

合計	100	100
----	-----	-----

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
割引率	0.069～0.67%	0.035～0.49%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度142,105千円、当事業年度144,712千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	445,379千円	436,050千円
投資有価証券評価損	223,512	223,821
未払事業税	135,805	109,109
賞与引当金	277,468	275,927
役員賞与引当金	12,235	19,428
役員退職慰労引当金	57,431	44,185
退職給付引当金	220,628	263,592
減価償却超過額	13,690	157,741
委託者報酬	257,879	264,398
長期差入保証金	23,262	31,721
時効後支払損引当金	78,035	75,866
連結納税適用による時価評価	200,331	148,858
その他	82,168	71,320
繰延税金資産 小計	2,027,829	2,122,023
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	2,027,829	2,122,023
繰延税金負債		
前払年金費用	133,105	127,144
連結納税適用による時価評価	1,382	1,320
その他有価証券評価差額金	655,348	497,269
その他	4	108
繰延税金負債 合計	789,840	625,842
繰延税金資産の純額	1,237,989	1,496,180

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第33期(平成30年3月31日現在)及び第34期(平成31年3月31日現在)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）及び第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）及び第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,851,587 千円	その他未払金	3,850,734 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,528,131 千円	未払手数料	665,262 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	664,152 千円	未払費用	348,142 千円
主要株主	(株)三菱東京 UFJ銀行 (注5)	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,852,112 千円	未払手数料	921,796 千円

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,216,517 千円	その他未払金	3,217,341 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱い及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,298,064 千円	未払手数料	671,568 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	695,834 千円	未払費用	365,510 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

5. ㈱三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で、㈱三菱UFJ銀行に行名を変更しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱い及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)

同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし (注1)	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	4,629,670 千円	未払手数料	734,633 千円
						取引銀行	コーラブル預金の預入 (注3)	20,000,000 千円	現金及び預金	20,000,000 千円
							コーラブル預金に係る受取利息 (注3)	1,578 千円	未収収益	1,578 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	6,152,016 千円	未払手数料	962,840 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. ㈱三菱UFJ銀行は、平成30年4月2日付で、保有する当社株式のすべてを㈱三菱UFJフィナンシャル・グループに対して現物配当しております。その結果、㈱三菱UFJ銀行は当社の主要株主から同一の親会社を持つ会社に該当することとなりました。
- なお、㈱三菱UFJフィナンシャル・グループは、同日付で、取得した当社株式のすべてを会社分割の方法により三菱UFJ信託銀行㈱に対して承継させております。
- 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
 - 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
 - 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）
三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

（1株当たり情報）

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
1株当たり純資産額	393,935.45円	384,107.08円
1株当たり当期純利益金額	53,652.87円	45,571.50円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064

普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581
------------------	---------	---------

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)		
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金		46,350,665
有価証券		3,906,355
前払費用		620,446
未収入金		8,561
未収委託者報酬		10,170,592
未収収益		585,312
金銭の信託		100,000
その他		134,705
流動資産合計		61,876,640
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	603,277
器具備品	1	794,065
土地		628,433
有形固定資産合計		2,025,776
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		3,390,287
ソフトウェア仮勘定		1,024,221
無形固定資産合計		4,430,330
投資その他の資産		
投資有価証券		18,792,024
関係会社株式		320,136
投資不動産	1	822,988
長期差入保証金		579,291
前払年金費用		420,773
繰延税金資産		1,420,372
その他		45,230
貸倒引当金		23,600
投資その他の資産合計		22,377,216
固定資産合計		28,833,324
資産合計		90,709,964

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)		
(負債の部)		
流動負債		
預り金		290,587
未払金		
未払収益分配金		131,632
未払償還金		424,093
未払手数料		4,009,808
その他未払金		2,100,383

未払費用		3,020,441
未払消費税等	2	381,045
未払法人税等		651,051
賞与引当金		924,061
役員賞与引当金		62,295
その他		900,753
流動負債合計		12,896,152
固定負債		
長期未払金		32,400
退職給付引当金		940,446
役員退職慰労引当金		107,709
時効後支払損引当金		243,873
固定負債合計		1,324,430
負債合計		14,220,582
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		2,000,131
資本剰余金		
資本準備金		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712
利益剰余金		
利益準備金		342,589
その他利益剰余金		
別途積立金		6,998,000
繰越利益剰余金		21,264,872
利益剰余金合計		28,605,462
株主資本合計		75,338,306

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(令和元年9月30日現在)

評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		1,151,075
評価・換算差額等合計		1,151,075
純資産合計		76,489,381
負債純資産合計		90,709,964

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(自 平成31年4月1日
至 令和元年9月30日)

営業収益		
委託者報酬		34,073,281
投資顧問料		1,143,410
その他営業収益		8,361
営業収益合計		35,225,053
営業費用		
支払手数料		13,714,724
広告宣伝費		252,678
公告費		250
調査費		

調査費		911,961
委託調査費		5,769,907
事務委託費		351,511
営業雑経費		
通信費		78,084
印刷費		218,610
協会費		25,207
諸会費		8,034
事務機器関連費		931,984
営業費用合計		22,262,956
一般管理費		
給料		
役員報酬		177,096
給料・手当		2,873,051
賞与引当金繰入		924,061
役員賞与引当金繰入		62,295
福利厚生費		635,789
交際費		4,597
旅費交通費		97,388
租税公課		193,484
不動産賃借料		327,917
退職給付費用		212,710
役員退職慰労引当金繰入		25,108
固定資産減価償却費	1	647,817
諸経費		177,080
一般管理費合計		6,358,399
営業利益		6,603,697

(単位：千円)

第35期中間会計期間

(自平成31年4月1日

至令和元年9月30日)

営業外収益		
受取配当金		34,517
受取利息		2,101
投資有価証券償還益		327,868
収益分配金等時効完成分		73,834
受取賃貸料		32,904
その他		15,364
営業外収益合計		486,590
営業外費用		
投資有価証券償還損		46,457
賃貸関連費用	1	12,337
その他		175
営業外費用合計		58,970
経常利益		7,031,318
特別利益		
投資有価証券売却益		53,850
特別利益合計		53,850
特別損失		
投資有価証券売却損		36,721
投資有価証券評価損		17,395
固定資産除却損		37
固定資産売却損		435

特別損失合計	54,589
税引前中間純利益	7,030,579
法人税、住民税及び事業税	2,095,061
法人税等調整額	65,064
法人税等合計	2,160,126
中間純利益	4,870,453

(3)中間株主資本等変動計算書

第35期中間会計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028
当中間期変動額									
剰余金の配当							9,675,175	9,675,175	9,675,175
中間純利益							4,870,453	4,870,453	4,870,453
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計							4,804,722	4,804,722	4,804,722
当中間期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	21,264,872	28,605,462	75,338,306

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762
当中間期変動額			
剰余金の配当			9,675,175
中間純利益			4,870,453
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	24,341	24,341	24,341
当中間期変動額合計	24,341	24,341	4,780,380
当中間期末残高	1,151,075	1,151,075	76,489,381

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

[注記事項]

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
建物	575,110千円
器具備品	1,377,937千円
投資不動産	141,659千円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
有形固定資産	85,187千円
無形固定資産	562,630千円
投資不動産	3,634千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第35期中間会計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当中間会計期間 増加株式数 (株)	当中間会計期間 減少株式数 (株)	当中間会計期間末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和元年6月27日

(リース取引関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	675,956千円
1年超	337,978千円
合計	1,013,934千円

(金融商品関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

金融商品の時価等に関する事項

令和元年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません(注2)参照)。

	中間貸借対照表計 上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	46,350,665	46,350,665	-
(2) 有価証券	3,906,355	3,906,355	-
(3) 未収委託者報酬	10,170,592	10,170,592	-
(4) 投資有価証券	18,736,664	18,736,664	-
資産計	79,164,277	79,164,277	-
(1) 未払手数料	4,009,808	4,009,808	-

負債計	4,009,808	4,009,808	-
-----	-----------	-----------	---

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式(中間貸借対照表計上額55,360千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(有価証券関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額(千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	16,466,321	14,354,198	2,112,123
	小計	16,466,321	14,354,198	2,112,123
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,176,697	6,629,733	453,035
	小計	6,176,697	6,629,733	453,035
合計		22,643,019	20,983,931	1,659,087

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額55,360千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 減損処理を行った有価証券

当中間会計期間において、有価証券について17,395千円(その他有価証券のその他17,395千円)減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
1株当たり純資産額	361,513.47円
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額(千円)	76,489,381
普通株式に係る中間期末の純資産額(千円)	76,489,381
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数(株)	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	23,019.33円
(算定上の基礎)	
中間純利益金額(千円)	4,870,453
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	4,870,453
普通株式の期中平均株式数(株)	211,581

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2019年9月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2019年9月末現在)	事業の内容
株式会社三菱UFJ銀行	1,711,958 百万円	銀行業務を営んでいます。
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
信金中央金庫	690,998 百万円	金融業務を営んでいます。

信金中央金庫の資本金の額は「出資金」を記載しております。

3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2019年9月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注) 関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2020年3月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注) 関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2035（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2045（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2055（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

令和2年4月15日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）の令和1年9月11日から令和2年3月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJターゲット・イヤー・ファンド2060（確定拠出年金）の令和2年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（令和1年9月11日から令和2年3月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和元年6月26日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 青木 裕 晃 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第34期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

令和元年12月3日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青	木	裕	晃	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊	藤	鉄	也	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第35期事業年度の中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の令和元年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。